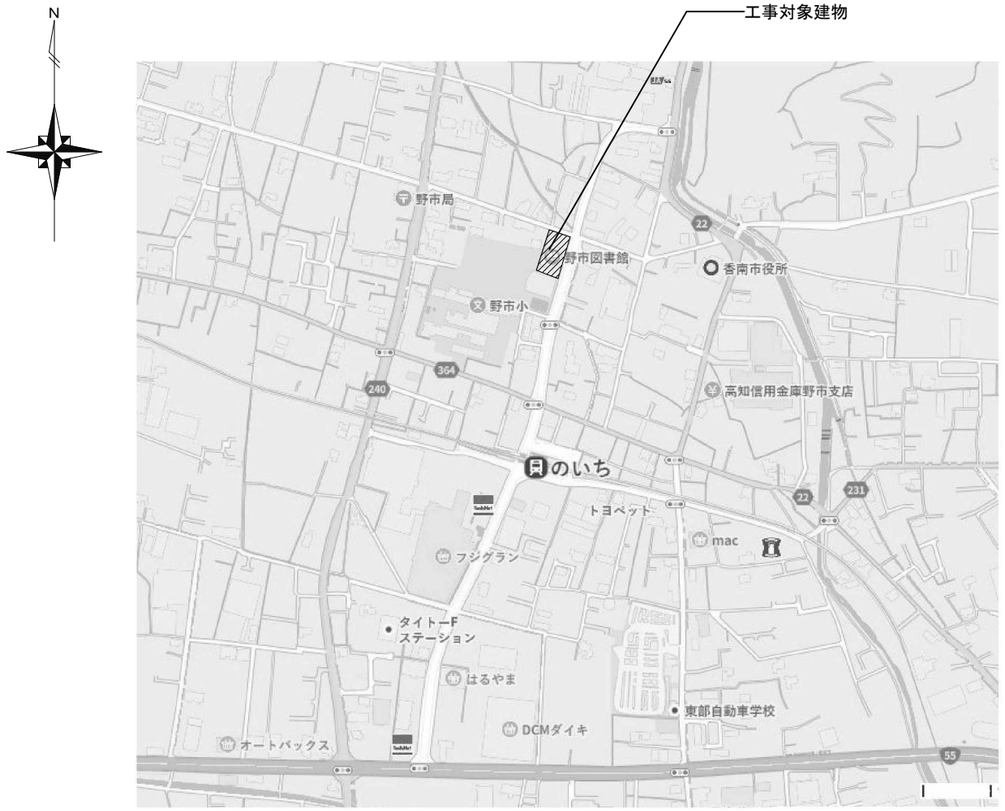
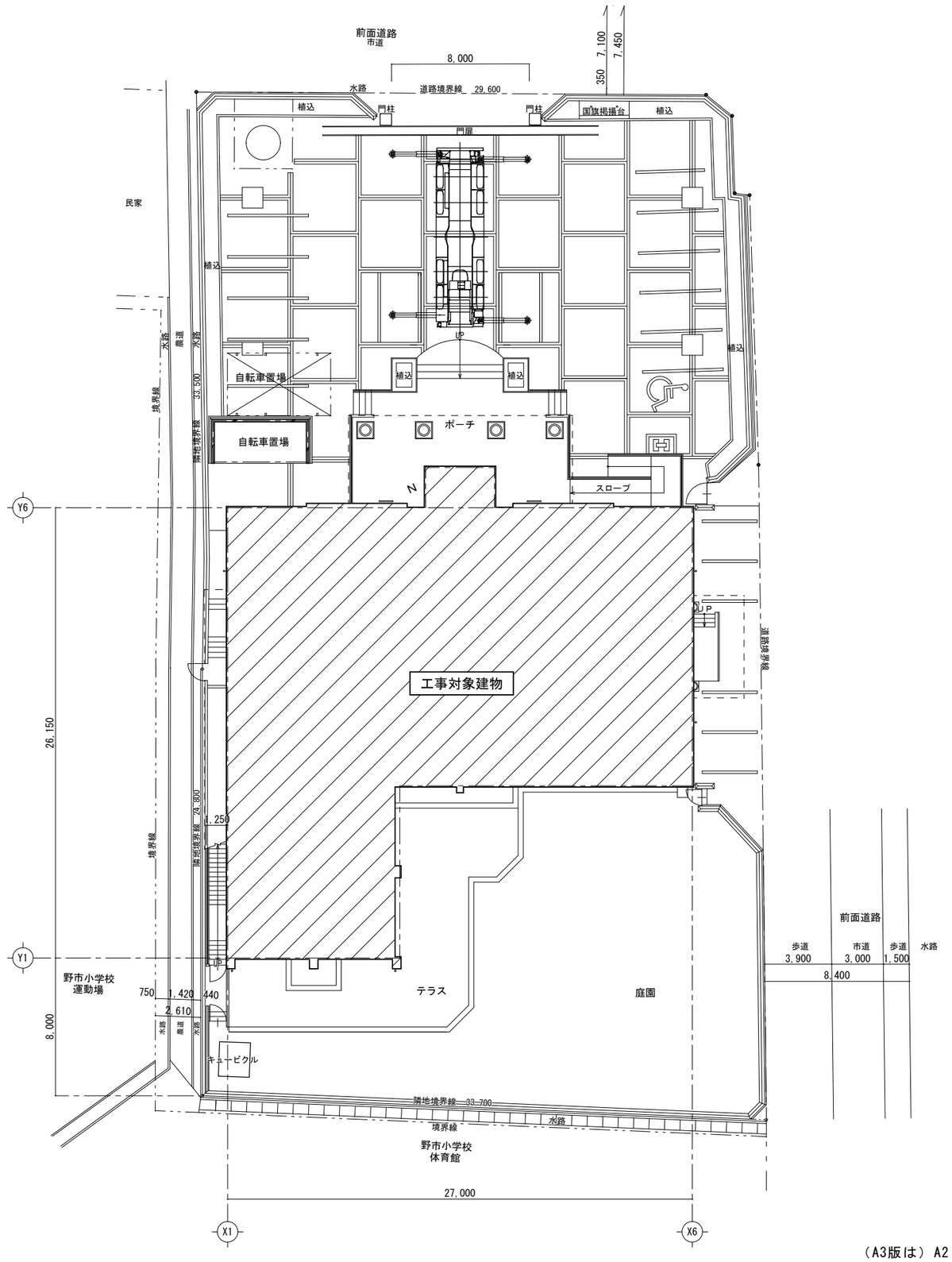
生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

株式会社ＲＩＳＥ設計事務所

機械設備図		電気設備図	
図 面 番 号	図 面 名	図 面 番 号	図 面 名
	表紙・図面リスト	Ｅ －０１	特記仕様書
Ｍ －００	設計概要・配置図・付近見取図	Ｅ －０２	機材指定表
Ｍ －０１	特記仕様書(1)	Ｅ －０３	地階・1階撤去設備図
Ｍ －０２	特記仕様書(2)	Ｅ －０４	2階撤去設備図
Ｍ －０３	特記仕様書(3)	Ｅ －０５	3階撤去設備図
Ｍ －０４	機器表	Ｅ －０６	屋上撤去設備図
Ｍ －０５	空調機系統図	Ｅ －０７	地階・1階改修空調電源設備図
Ｍ －０６	地階・1階空調設備図	Ｅ －０８	2階改修空調電源設備図
Ｍ －０７	2階空調設備図	Ｅ －０９	3階改修空調電源設備図
Ｍ －０８	3階空調設備図	Ｅ －１０	屋上改修空調電源設備図
Ｍ －０９	屋上空調設備図		
Ｍ －１０	1階リモコン配線図		
Ｍ －１１	2階リモコン配線図		
Ｍ －１２	3階リモコン配線図		
Ｍ －１３	屋上リモコン配線図		
Ｍ －１４	撤去機器表		
Ｍ －１５	1階撤去図		
Ｍ －１６	2階撤去図		
Ｍ －１７	3階撤去図		
Ｍ －１８	1階配管撤去図		
Ｍ －１９	2階配管撤去図		
Ｍ －２０	3階配管撤去図		
Ｍ －２１	屋上配管撤去図		



付近見取図



（A3版は） A2 → A3縮小

工 事 概 要

対 象 施 設 名	野市図書館
所 在 地	野市町西野594番地
施 設 用 途	図書館
委 託 項 目	空調機器整備工事
	※詳細は各図面に記載されたものによる。

株式会社 RISE設計事務所
管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

生第08115号 野市図書館空調設備更新工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

工事概要・付近見取図・配置図

SCALE 1:500

00
M

特　記　仕　様　書　（１）

工事名称　野市図書館空調設備更新工事（機械設備）
設計年度(設計図)　令和　7 年度
工事期間(完成図)令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日
工事場所　高知県香南市野市町西野594番地

棟　名	構　造	階　数	延床面積（m²）	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
	ＲＣ造	地下1 地上3 戸　数	1,540.88		

Ⅰ　共通事項

一般共通仕様

スリーブ
※ 国土交通省仕様
（例：外壁の地中部等 水密を要す部分はツバ付鋼管スリーブ等。地中部分で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所で、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。）

機器類
○ 国土交通省仕様　● メーカー仕様

区画貫通処理
※ 区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。

耐震措置
※「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成８年度版」（建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修　2014年版）による。
建物の種別：　○ 特定の施設　● 一般の施設　　地域係数：　１．０
1)設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。
特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。
2)設計用鉛直地震力は設計水平地震力の１／２とする。

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階屋上及び塔屋	機　器	２．０	１．５	１．５	１．０
	防振機器	２．０	２．０	２．０	１．５
	水 槽 類	２．０	１．５	１．５	１．０
中層階	機　器	１．５	１．０	１．０	０．６
	防振機器	１．５	１．５	１．５	１．０
	水 槽 類	１．５	１．０	１．０	０．６
地階・1階	機　器	１．０	０．６	０．６	０．４
	防振機器	１．０	１．０	１．０	０．６
	水 槽 類	１．５	１．０	１．０	０．６

重要機器
防災機器
火を使用する機器
タンク類
消火設備機器

仕様

機器の固定
※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。
注）ナットに対するボルトの余長は３山以上を標準とする。
※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。（県標準図１６）　※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。
※ 防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。

配管の支持
※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト（亜鉛ドブ漬又はステンレス製）にてスラブ筋に支持する。
※ 屋外及びピット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はＳＵＳ製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。
※ 仕様のとおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。

ねじ接合材
ねじ接合材使用区分表

流体種別	給水				給湯			冷温水			
管材等種別	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	水栓金具	弁類	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	弁類	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	銅管	弁類
テープシール材			(イ)								
ペーストシール剤	(ロ)			(ロ)	(ロ)		(ロ)	(ロ)			(ロ)
		(ハ)				(ハ)			(ハ)	(ハ)	

（テープシール材）
※（イ）　テープシール材は、JIS K 6885（シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ)）によるものとする。
注）水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。

（ペーストシール剤）
※（ロ）　一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。
※（ハ）　給水用、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161（水道用ライニング鋼管用液状シール剤）に規定する水道用シール剤とする。
注）水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なペーストシール剤は下記による。
ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤（ロ）
（例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメチックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメチック No,AO-9など）
ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤（ハ）
（例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール55･88･403・株式会社ヘルメチックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメチックNo,AO-9など）

弁類
※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径５０以下は青銅製、呼び径６５以上はステンレス製とする。

サヤ管工法
※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。（同時施工を行わない。）

埋設深さ（管上）
○ 一般敷地３００mm以上　　○ 車両通路６００mm以上　　○ 公道８００mm以上　○ 公道１，０００mm以上　○ 公道１，２００mm以上。

埋設管の保護
○ 埋設管は周囲１００mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。

○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。

石綿含有品
※ 石綿含有分析調査　　○本工事　　○別途　　○無し
アスベスト含有品（ガスケット、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等）は関係法令に従い適切に処理を行う。

建設発生土の処理
※ 構外搬出
処理場所（　　）所在地（　　）距離（　　）km
その他　建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。
○ 構内指定場所に敷き均し　　○ 構内指定場所に堆積

建設副産物
※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。
※ 浄化槽・桝類の砂利地業は原則として再生クラッシャランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可)

ｺﾝｸﾘｰﾄ工事／骨材
※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

はつり・非破壊検査
※ はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。
なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。

総合調整
※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定場所等は監督職員の指示による。）
○風量調整　○水量調整　○室内外空気の温湿度の測定　○騒音の測定　○室内気流及びじんあいの測定

技能士の適用
○ 配管施工(配管工事)　○ 熱絶縁施工(保温工事)　○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付)　○ 冷凍空気調和機器施工　○ その他

完成後の提出物
完　成　図　※ CADデータをCD-Rに保存して提出。　※ 画像データ(PDF形式)　※ ２ツ折りＡ３版製本 ２部
施　工　図　○ CADデータをCD-Rに保存して提出。　● 画像データ(PDF形式)　○ ２ツ折り製本（サイズは原図による）
工事管理資料(写し)　※ フラットファイル等に閉じたもの。
工　事　写　真　※ フラットファイル等に閉じたもの。　● 画像データ(PDF形式)
工　事　日　誌　※ フラットファイル等に閉じたもの。
工　具　類　○ マンホールフック　○ 制水弁ハンドル　○ 掃除口ハンドル　○

●室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板，木質フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，ＭＤＦ，パーティクルボード，ユリア樹脂板壁紙，緩衝材，断熱材，保温材，仕上げ塗材	Ｆ☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
③ 木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス，ダイアジノン，フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤，木工事用接着剤，配管用接着剤，接合剤	１）ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを含有してないものとする。 ２）フタル酸ジ-n-ブチル，フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具，書架，実験台，什器，洗面化粧台，流し台	①，②，③，④の建築材料を使用する場合はＦ☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品を使用する。

室内に関わる材料（上記②～④及び建具,シール材,その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，フタル酸ジ-ｎ-ブチル，フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル，クロルピリホリス，ダイアジノン，フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配管材料

①	配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】(JIS G 3452)	㉑ ポリブデン管 (JIS K 6778)
②	配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】(JIS G 3452)	㉒ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【D-VA】(WSP 042)
③	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VA】(JWWA K 116･WSP 011)	㉓ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 (WSP 032)
④	水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VD】(JWWA K 116)	㉔ 排水用鋳鉄管 【メカニカル形2種管】(JIS G 5525)
⑤	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 【SGP-PA】(JWWA K 132・WSP 039)	㉕ 鉛管(HASS 203)
⑥	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】 (WSP 041)	㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】(JIS K 6741)
⑦	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-HVA】(JWWA K 140)	㉗ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】(JIS K 6741)
⑧	一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)	㉘ 排水・通気用耐火二層管 【内管VP】
⑨	配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】(JIS G 3459)・・・60A以下は拡管式	㉙ 卵形管 【ゴムリング】(JAWAS K-3)
⑩	水道用ダクタイル鋳鉄管 【3種管】(JWWA G 113)	㉚ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管
⑪	銅管 【M】(JIS H 3300)	㉛ 硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】(JIS G 3452原管) 白
⑫	外面被覆銅管 【M】(JIS H 3330) 給湯	㉜ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)
⑬	耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】(JIS K 6776)	㉝ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】
⑭	水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】(JIS K 6742)	㉞ 断熱材被覆銅管 【ポリエチレン保温材】(JCDA 0009) 冷媒
⑮	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】(JIS K 6742)	㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管（日本消防設備安全センターの性能認定取得品）
⑯	水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】(JWWA K 127)	㊱ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】（内管JIS規格品）
⑰	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】(JWWA K 129)	㊲
⑱	水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)	㊳ -
⑲	水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)	㊴ -
⑳	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769)	㊵ -

管種使用区分

工種＼場所	屋内一般	屋内ピット	屋内コンクリ	屋内土中	屋外埋設	屋外架空	
給水（直圧）							
給水（一般）							
汚水							※125A以上の地中埋設は㉗とする。
雑排水							※125A以上の地中埋設は㉗とする。
通気							
ガス							
消火							
給湯							
器具接続							
冷温水							
冷却水							
中水							
冷媒	㉞					㉞	
空調ドレン	㊱					㉖	

塗装・防食

※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。
※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
※ 土中埋設する鋳鉄管、鋳鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。
○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類（電気メッキ品）は塗装（さび止めペイント・中塗り・上塗り）を施す。
※ 下記の露出配管、ダクト（ダクト構成部材含む）、電線管、フード類の塗装を行う。
屋外：　○ドレン管（指定色塗装）　○金属電線管（指定色塗装）
屋内：　○ダクト　（指定色塗装）　○金属電線管（指定色塗装）　○フード類（指定色塗装）

保温・防露

工種＼場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考
給水	a_2( )Ⅶ	b( )Ⅶ	c_2( )Ⅶ	d( )Ⅶ	e_3( )Ⅶ	( )	
排水・空調ドレン	a( )Ⅶ	b( )Ⅶ	c_2( )Ⅶ				
給湯	a( )Ⅰ	b( )Ⅰ	c_2( )Ⅰ	d( )Ⅰ	e_2( )Ⅰ		
冷水・冷温水管	A( )Ⅲ	B( )Ⅲ	C_1( )Ⅲ	D( )Ⅲ	E_2( )Ⅲ		
冷媒管	(チ)+スリムダクト	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+(ロ)+(ヌ)		
矩形ダクト	J_1( )XI	I( )XI	I( )XI		K_2( )XI		
スパイラルダクト	O_1( )XI	N( )XI	N( )XI		P_2( )XI		

(イ)ロックウール保温材　(ニ)簡易保温筒10mm　(ト)簡易耐熱保温筒20mm　(ヌ)ガルバリウム鋼板
(ロ)グラスウール保温材　(ホ)簡易保温筒20mm　(チ)冷媒用被覆銅管　(ル)カラーガルバリウム鋼板
(ハ)ポリスチレンホーム保温材　(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm　(リ)SUSラッキング　(ヲ)ー

○ フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。
※ 器具類（洗面化粧台・給湯器・温水器等）と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。

表示

※ 配管表記
①機械室・ピット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。
②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。
③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。
※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。
※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図１３)
※ 水中に設置するような各種主要機器類（水中ポンプ等）は銘板を盤付近にも設ける。（製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。）
※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。
※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。
※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。
※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示鋲(標示柱は県標準図８)を設ける。
※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。(排水・通気管を除く)

発生材の処理

○ 引渡しを要するもの（　　）
○ 現場において再利用を図るもの（　　）
※ 再生資源化を図るもの　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材　※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。
※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

生第08115号　野市図書館空調設備更新工事			
PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

特記仕様書（１）

SCALE 1／NS　　01／M

特　記　仕　様　書　（２）

Ⅱ　工事種目

○衛生器具設備

取付位置	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 （特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意）
大便器	※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（３㎜以上）とする。（県標準図１）
	※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。
化粧鏡	※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。
流量調整	※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器　8～10秒　　小便器　8～10秒　　自閉式水栓　7秒
洗濯機パン	※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。
シール（コーキング）	○ 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。

機器種別	設置場所の床が湿式(防水)		設置場所の床が乾式(非防水)	
	壁	床	壁	床
洋風便器	－	不	－	不
洗面器類	不	－	要	－
掃除流し	不	－	要	不
洗濯流し	不	－	要	不
洗濯パン	－	－	要	不
ステンレス流し台	要	不	要	不
化粧棚	不	－	要	－

壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。

○給水設備

負担金	○ 不要　○ 要（　　）
弁類	※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁）
	※ 二次側給水弁(土中)：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング)
	※ 二次側給水弁(一般)：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋳鉄製Ｆ付き内面ライニング弁5K
継手類	※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。
	※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。
	※ ビニル管とライニング鋼管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。
	※ ＴＳバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。
バルブボックス	※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図５・６による。
隠蔽部の保温	※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管　→　要　　流し下の空間配管　→　要
既設給水鋼管への接続	※ 改修工事等で鋼管類（ライニング鋼管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、鋼管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等パイプライニング用)にて処置する。ただし、コアー体型管端防食タイプソケットRC-LA型鋲リケンを使用する場合は処理不要とする。）
水槽類の施工手順	※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図４を参考とし水位高さを協議する。
水槽類の衛生管理	※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。
引渡前の水質の管理	○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。）
	○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（　　ヶ所）とする。

○排水設備

保護砂　砂利	○ 第１桝以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（１８０度台）を要す。
	○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。
樹脂製排水桝	※ 防護蓋を設置する場合は県標準図７による。
衛生器具等の接続	○ 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。
	※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図５による。
	○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。）
排水管の防露	※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで→必要　流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要
排水管の試験等	○ 満水試験　○ 通水試験　○ 鏡確認
その他	※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共住区画に適合する処理を施す。

○消火設備

消火栓箱	○ 消火栓箱は（○ 県標準図１２ ○国土交通省仕様 ○メーカー仕様）
	○ 共住区画の消防検査受検必要

○給湯設備

弁類	○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K
絶縁対策	※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。
	※ 鋼板製ボイラー及び鋼管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。
給湯管の保温	※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。
	※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。
	※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。
大気汚染対策	○ 排ガス監視装置を要す。　○ ばい煙濃度測定口を要す。

○ガス設備

ガス集合装置	※ ガス集合装置は県標準図９・１０・１１を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。
給湯器用止水弁	※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。
その他	※ ガス用フレキ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。
	※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。
	※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10㎜以上のもので、下記のいずれかとする。
	※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。
	※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で５年間保存する。

○浄化槽設備

種汚泥	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。
試運転調整	※ 浄化槽の使用開始後おおむね３ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 1 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査(ＢＯＤ，ＳＳ，ＰＨ，大腸菌，塩素イオン)を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。
	※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。
その他	※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。
	○ 補助金申請設備

●空気調和・換気設備

空調機器の仕様	※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成十二年法律第百号)）の判断基準適合品とする。 なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。
	○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。　● 屋外機は耐塩害仕様とする。
パッケージエアコン等	※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図１３を参考にして注意する。
	● 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照） １）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 ２）野縁受のはね出しが300㎜以上の場合は、増し吊りを設ける。
	※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。
自動空気抜き弁装置	○ 不要　○ 要（　　）ヶ所　自動空気抜き弁にはＧＶ及びストレーナーを取付ける。
冷媒配管のラッキング	※ 配管ラッキング（溶融アルミニウムー亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。
	※ 配管樹脂化粧カバー(スリムダクト)も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。(コーキング処理、またはエンドキャップ処理)(フリーコーナー(ジャバラ)は使用しない。)
ダクト	○ アルミフレキ（不燃材料認定品）　○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品）○ スパイラルダクト
消音内貼り	※ 内貼りチャンバの寸法表示は、外法寸法とすること。サプライチャンバにはその上に鋼きっ甲金網押えを行う。
	※ 消音材はグラスウール(吹出口チャンバー･吸込口チャンバー･レターンチャンバーは25㎜厚,サプライチャンバーは50㎜厚)とし､ガラスクロス押えとする。
厨房等の排気フード	※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0㎜厚）
	※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。
	※ 黄銅製コックは20㎜のものとする。（キャップ止でもよい）
	※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。(参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。)
送風機（大型）	※ 送風機の機器表にファンの番手（＃）を明記している場合、小さい番手にしない。
エアコン類の電気工事	※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース(CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。
	※ ﾘﾓｺﾝ線はEM-AE0.9㎜/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のﾘﾓｺﾝ線は機器付属品でもよい。）
	※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。）
	※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明ＳＷの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。
防振ハンガー	※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図１４による。
耐震対策措置	※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図１５による。
機器付属の制御盤	※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。
大気汚染対策	○ 排ガス監視装置を要す。　○ ばい煙濃度測定口を要す。

●別工途事

別途工事	○ スリーブ、箱入れの補強筋
	○ 天井および壁貫通に対する下地補強　● 内部床養生　● 内部足場　● 竣工時の清掃
	● 天井カセット形空調機天井開口補強×35箇所　● 天井点検口及び天井開口補強450×450×40箇所　● B集密書架室ｽﾁｰﾙ棚ー時撤去・再設置W3640×D470×H2490

Ⅲ　材料メーカー表

材料	材料メーカー
衛生陶器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水栓金具類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
ＦＲＰ水槽	三菱、日立、積水
うず巻ポンプ	荏原、日立、ﾗｸﾙ、川本
水中モーターポンプ	荏原、日立、ﾗｸﾙ、川本、鶴見
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、ﾗｸﾙ、川本、鶴見、新明和
電気温水器	四変テック、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小型鋼板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネポン、ヒラカワ
ＦＲＰ膨張タンク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
その他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な取扱資格者		
	ボイラ	○ 資格不要　○ 特別教育修了者（小型ボイラ）　○ 講習修了者　○（　）級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要　○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要　○ 第（　　）種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打合せ事項	確認日
給水			令和　年　月　日
排水			令和　年　月　日
消防			令和　年　月　日
浄化槽			令和　年　月　日
ガス			令和　年　月　日
その他			令和　年　月　日
			令和　年　月　日

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

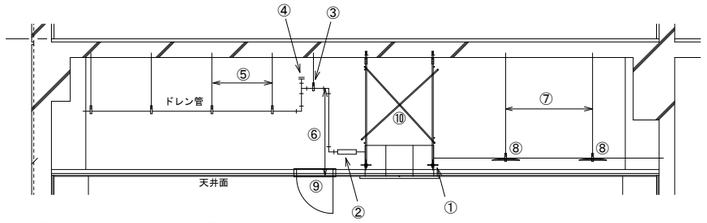
PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

特記仕様書（２）

SCALE 1／NS　　02／M

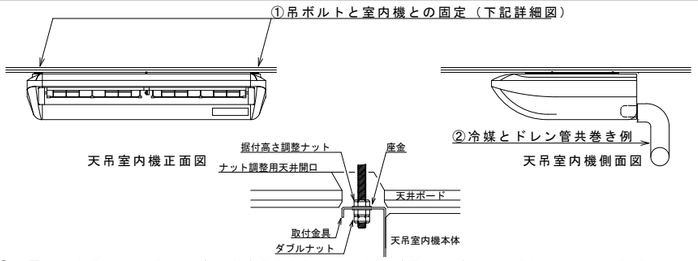
県標準図１３　パッケージエアコンの施工

製　作　平成29年 5月



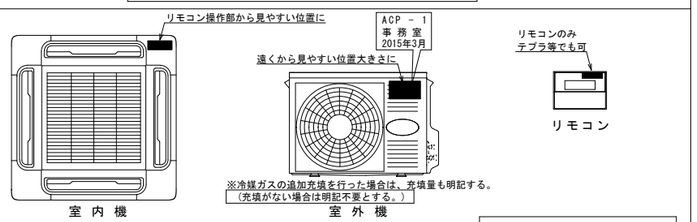
①機器の取り付けは、取付金具の下部ダブルナット・増締後チェック用マーキングとする。
②室内機付属のフレキシブルホースは機器の直近に設ける。
③ドレン管の立上部には吊りを必ず設ける。
④ドレン管通水用に、立上下流側に掃除口を設ける。
⑤塩ビ製ドレン管の支持間隔は１ｍ以内とする。（注：排水管の支持間隔）
⑥ドレン管の立上高さ等は製造業者の仕様とする。
⑦冷媒配管の支持間隔は基準外径9.52mm以下の場合1.5m以下、12.7mm以上の場合は2.0m以下とする。
⑧冷媒管の被覆保護ため、市販の保温材保護プレートを設ける。
⑨点検口は、機器へのドレン管接続部近辺に設ける。
⑩耐震用の振れ止めに設ける全ねじボルトはボルト・ナットにて強固に取り付けること。

天カセエアコン室内機の施工における主な注意点



①地震等の大きな揺れで天井ボードが破壊され、取付金具が持ち上がり外れて落下しない対策を行う。
②ドレンアップ機能の付いていないドレン配管は、室内機直近で立ち下げる。

天つりエアコン室内機の施工における主な注意点



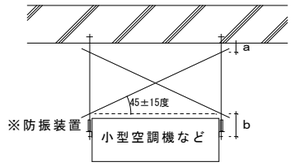
文字書きはカッティングシート切抜き文字とする。

エアコン室内外機等の表記

県標準図１５　設備耐震対策措置

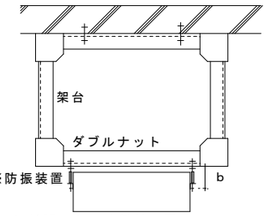
製　作　令和 2年 6月

（機能確保を図る標準的な対策）



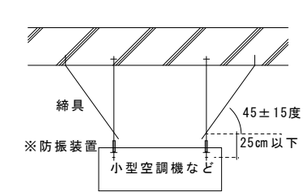
・ａ＋ｂが25cm以下は斜材不要。
・ａ＋ｂが25～30cmは、鉛直吊り長さが25cm以内になる斜材か、鉛直つりボルトを12φにする。
・ａ＋ｂが30cmを超える場合は、鉛直つり長さが25cm以内になる斜材が必要。

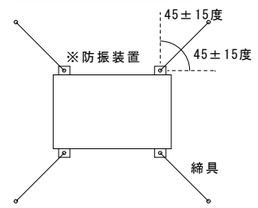
①全ねじボルトＸ状の据付け法



・ｂが25cm以下は斜材不要。
・ｂが25～30cmは、鉛直吊り長さが25cm以内になる斜材か鉛直つりボルトを12φにする。
・ｂが30cmを超える場合は、鉛直つり長さが25cm以内になる斜材が必要。

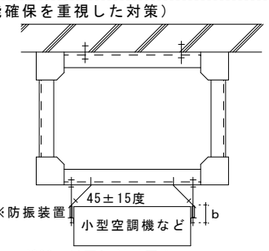
②形鋼製架台の据付け法





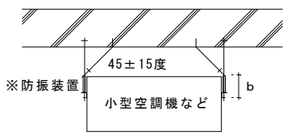
③全ねじボルト放射状の据付け法

（機能確保を重視した対策）



・ｂが20cm以下は斜材不要。
・ｂが20～25cmは、鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材か鉛直つりボルトを12φにする。
・ｂが25cmを超える場合は、鉛直つり長さが20cm以内になる斜材が必要。

①鋼製架台を用いた場合の横振れ防止



・ｂが20cm以下は斜材不要。
・ｂが20～25cmは、鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材か鉛直つりボルトを12φにする。
・ｂが25cmを超える場合は、鉛直つり長さが20cm以内になる斜材が必要。

②全ねじボルトを用いた場合の横振れ防止

公益社団法人 空気調和・衛生工学会
『建築設備の耐震設計 施工法』より

注）防振装置の設置は機器リストや図面内の特記による。

県標準図１６　金属系アンカー

製　作　令和 2年 6月



スリーブ打込み式
（おねじタイプ）

ウェッジ式
（おねじタイプ）

機器の固定に使用する金属系アンカー

※ ボンベハウスの固定アンカーに関する注意点　（部分抜粋）

アンカーボルトの穴は、深度80mmとしてコンクリートドリル刃外径16.5mmを使用し
水平なコンクリート基礎の上に設置します。
ボンベハウスの土台を付属品の後施工アンカー(テーパーボルト式アンカー外径16mm溶融亜鉛めっき)
にて止めてください。

ボンベハウスの固定に使用する金属系アンカー

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社 RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事				特記仕様書（３）	SCALE 1/NS　03/M
	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY		

空調機器リスト

記号	名　称	形　式	冷房能力	暖房能力	定格消費電力		圧縮機 kw	電源			機種（参考型番）	台数	備　考	場　所
								電圧	室内	室外				
MAC-1	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	冷暖切替形，高効率モデル	40.0	45.0	11.0	13.5	12.1×1	3φ200V	×	○	RXYA400A(E)	1	防振架台，室外機保護網，ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ（製品質量271kg）	屋上（1階ﾎｰﾙ・事務所系統）
MAC-1-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	3.6	4.0	0.028	0.024		1φ200V	○	×	FXYFA36AA	2	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	事務室
MAC-1-2	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	5.6	6.3	0.043	0.038		1φ200V	○	×	FXYFA56AA	2	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	廊下，館長室
MAC-1-3	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	8.0	9.0	0.086	0.081		1φ200V	○	×	FXYFA80AA	1	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	集蜜書架ｺｰﾅｰ
MAC-1-4	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込ダクト形	14.0	16.0	0.295	0.285		1φ200V	○	×	FXYMA140AA	1	ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	ﾎｰﾙ
MAC-2	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	冷暖切替形，高効率モデル	50.0	56.0	14.6	14.6	12.9×1	3φ200V	×	○	RXYA500A(E)	1	防振架台，室外機保護網，ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ（製品質量334kg）	屋上（1階開架書架・閲覧室系統）
MAC-2-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	4.5	5.0	0.037	0.033		1φ200V	○	×	FXYFA45AA	5	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	開架書架室
MAC-2-2	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	7.1	8.0	0.072	0.068		1φ200V	○	×	FXYFA71AA	4	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	閲覧室
MAC-3	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	冷暖切替形，高効率モデル	33.5	37.5	9.41	12.6	11.1×1	3φ200V	×	○	RXYA335A(E)	1	防振架台，室外機保護網，ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ（製品質量223kg）	屋上（2階会議室系統）
MAC-3-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	2.8	3.2	0.028	0.024		1φ200V	○	×	FXYFA28AA	1	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	ﾎｰﾙ
MAC-3-2	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	3.6	4.0	0.028	0.024		1φ200V	○	×	FXYFA36AA	2	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	会議室
MAC-3-3	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	4.5	5.0	0.037	0.033		1φ200V	○	×	FXYFA45AA	2	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	会議室
MAC-3-4	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	7.1	8.0	0.072	0.068		1φ200V	○	×	FXYFA71AA	2	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	静寂読書室
MAC-4	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	冷暖切替形，高効率モデル	33.5	37.5	9.41	12.6	11.1×1	3φ200V	×	○	RXYA335A(E)	1	防振架台，室外機保護網，ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ（製品質量223kg）	屋上（2階特別閲覧室系統）
MAC-4-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	3.6	4.0	0.028	0.024		1φ200V	○	×	FXYFA36AA	2	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	特別閲覧室
MAC-4-2	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	4.5	5.0	0.037	0.033		1φ200V	○	×	FXYFA45AA	2	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	特別閲覧室
MAC-4-3	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	8.0	9.0	0.086	0.081		1φ200V	○	×	FXYFA80AA	1	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習室
MAC-4-4	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込ダクト形	4.5	5.0	0.148	0.136		1φ200V	○	×	FXYMA45AA	1	ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	A集蜜書架室
MAC-4-5	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込ダクト形	5.6	6.3	0.148	0.136		1φ200V	○	×	FXYMA56AA	1	ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	B集蜜書架室
MAC-5	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	冷暖切替形，高効率モデル	56.0	63.0	15.7	19.1	17.0×1	3φ200V	×	○	RXYA560A(E)	1	防振架台，室外機保護網，ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ（製品質量334kg）	屋上（3階系統）
MAC-5-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	2.8	3.2	0.028	0.024		1φ200V	○	×	FXYFA28AA	1	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	ﾎｰﾙ
MAC-5-2	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	4.5	5.0	0.037	0.033		1φ200V	○	×	FXYFA45AA	6	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	展示室（大），郷土資料ｺｰﾅｰ
MAC-5-3	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 S-ラウンドフロー（センシング）	5.6	6.3	0.043	0.038		1φ200V	○	×	FXYFA56AA	1	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	郷土資料ｺｰﾅｰ
MAC-5-4	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込カセット形 エコ・ダブルフロー（センシング）	2.8	3.2	0.039	0.035		1φ200V	○	×	FXYCA28AA	1	化粧ﾊﾟﾈﾙ，ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	陳列ｹｰｽ
MAC-5-5	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込ダクト形	9.0	10.0	0.188	0.176		1φ200V	○	×	FXYMA90AA	1	ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	ﾎﾜｲｴ
MAC-5-6	ビル用マルチエアコン 室内機	天井埋込ダクト形	11.2	12.5	0.224	0.215		1φ200V	○	×	FXYMA112AA	1	ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ，遮断弁ﾕﾆｯﾄ	展示室（小）
既存-1	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン（更新対象外）	天井埋込カセット形 ビルトインＨｉタイプ	7.1 （3.4～8.0）	8.0 （3.6～10.6）	1.92	2.04	1.29	3φ200V	×	○	SSRB80BBT（E）	1	ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ	地階　収蔵庫（機械室）
H-1	除湿機	床置形	除湿能力 2.2L/H		0.800kW		0.65	1φ100V	—	—	KFH-P08RB-W	1	満水時停止装置付ｷｬｽﾀｰﾜｺﾞﾝ(J-08CT1)	資料収蔵庫
H-2	除湿機	床置形	除湿能力 2.2L/H		0.800kW		0.65	1φ100V	—	—	KFH-P08RB-W	1	満水時停止装置付ｷｬｽﾀｰﾜｺﾞﾝ(J-08CT1)	資料収蔵庫

換気機器リスト

記号	名　称	形　式	ﾀﾞｸﾄ径	風　量	消費電力	騒　音	電　源	台数	機　種	備　考（付属品等）
			(φ)	(m3/h)	(W)	(dB)	(相/電圧)			
F-1	熱交換形換気扇	天井埋込形	100	強　120	強　30.5	強　36.5	単相100Ｖ	2	FY-15ZB3/1W	
				弱　69	弱　23.5	弱　26.5				

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

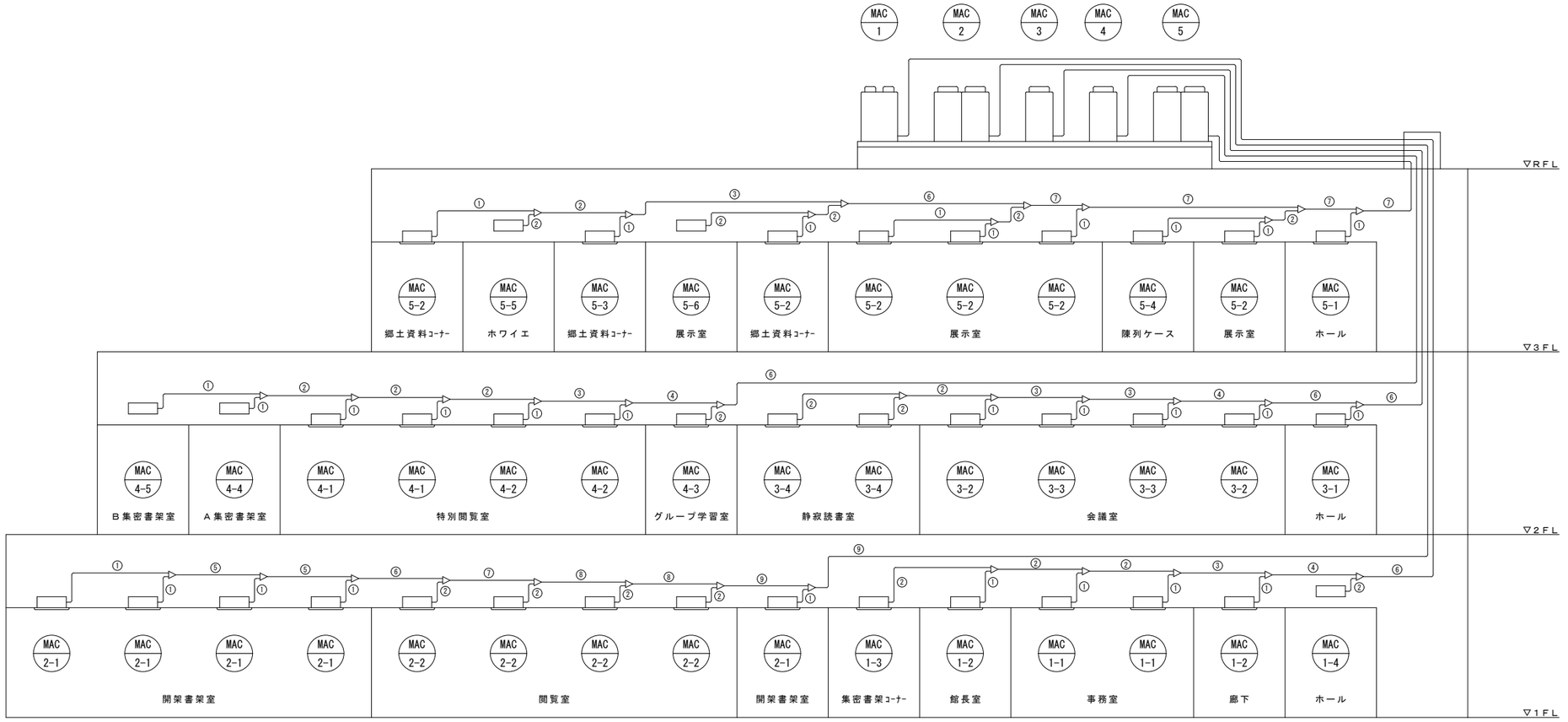
生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

機器表

SCALE 1／NS

04／M



冷媒配管サイズリスト		
	液　管	ガス管
①	φ 6.4	φ12.7
②	φ 9.5	φ15.9
③	φ 9.5	φ19.1
④	φ 9.5	φ22.2
⑤	φ12.7	φ19.1
⑥	φ12.7	φ22.2
⑦	φ12.7	φ25.4
⑧	φ15.9	φ25.4
⑨	φ15.9	φ28.6

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

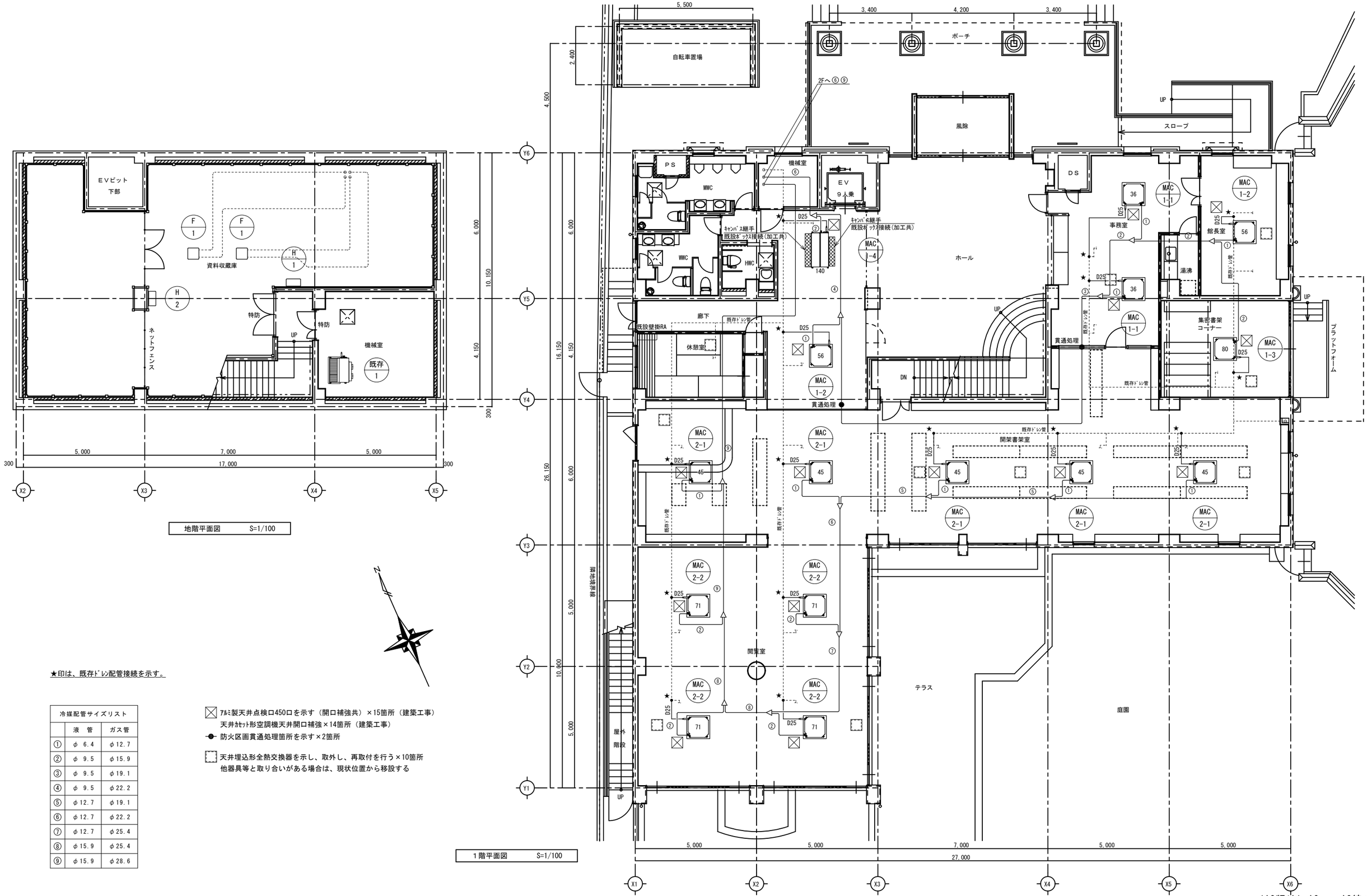
生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

空調機系統図

SCALE 1/NS

05
M



地階平面図　S=1/100

１階平面図　S=1/100

★印は、既存ﾄﾞﾚﾝ配管接続を示す。

冷媒配管サイズリスト		
	液　管	ガス管
①	φ 6.4	φ12.7
②	φ 9.5	φ15.9
③	φ 9.5	φ19.1
④	φ 9.5	φ22.2
⑤	φ12.7	φ19.1
⑥	φ12.7	φ22.2
⑦	φ12.7	φ25.4
⑧	φ15.9	φ25.4
⑨	φ15.9	φ28.6

アルミ製天井点検口450口を示す（開口補強共）×15箇所（建築工事）
天井ｶｾｯﾄ形空調機天井開口補強×14箇所（建築工事）

防火区画貫通処理箇所を示す×2箇所

天井埋込形全熱交換器を示し、取外し、再取付を行う×10箇所
他器具等と取り合いがある場合は、現状位置から移設する

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

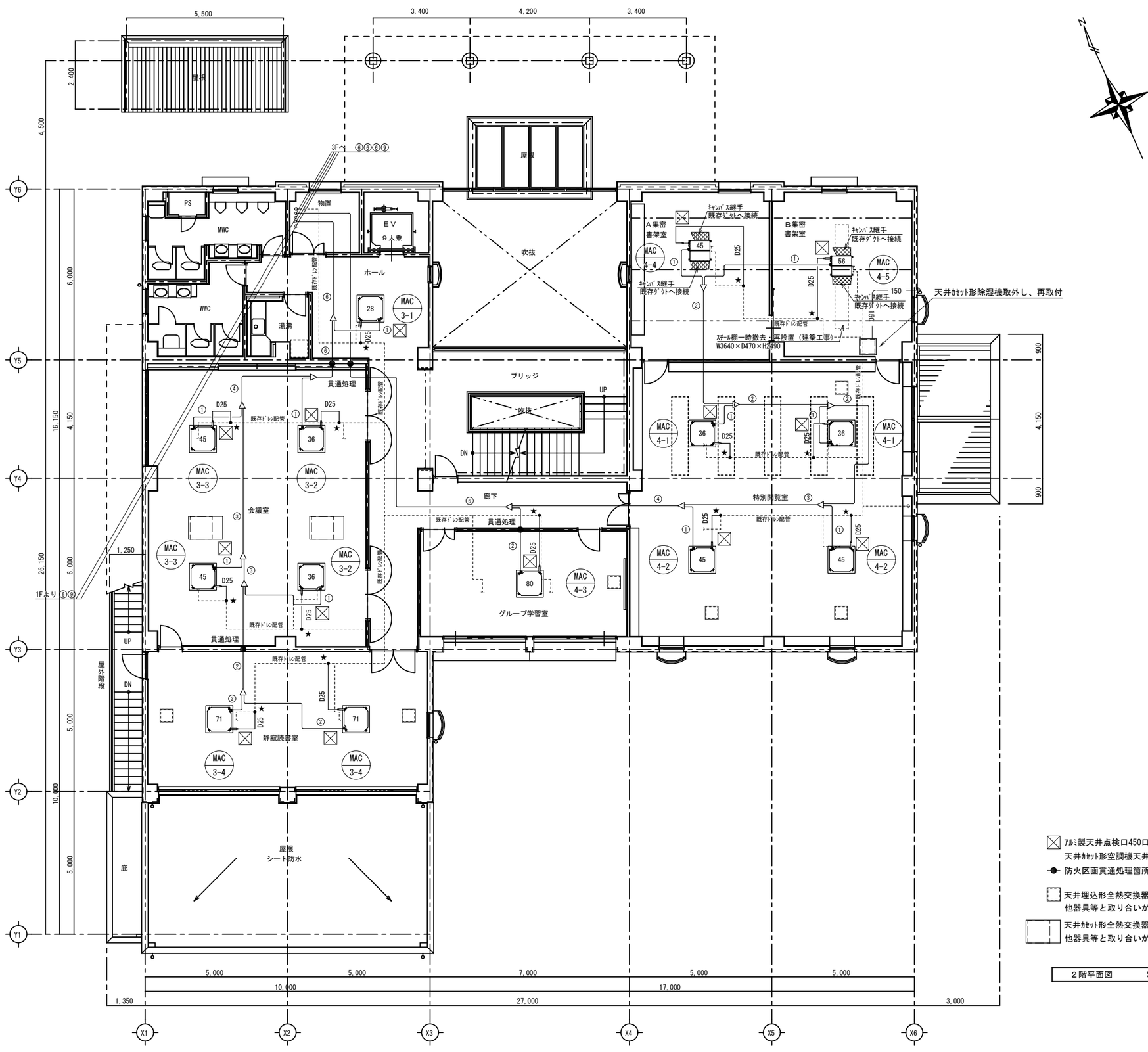
生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

地階・１階空調設備図

SCALE 1/100

06
M



★印は、既存ﾄﾞﾚﾝ配管接続を示す。

冷媒配管サイズリスト		
	液　管	ガス管
①	φ 6.4	φ12.7
②	φ 9.5	φ15.9
③	φ 9.5	φ19.1
④	φ 9.5	φ22.2
⑤	φ12.7	φ19.1
⑥	φ12.7	φ22.2
⑦	φ12.7	φ25.4
⑧	φ15.9	φ25.4
⑨	φ15.9	φ28.6

⊠ ｱﾙﾐ製天井点検口450口を示す（開口補強共）×14箇所（建築工事）
天井ｶｾｯﾄ形空調機天井開口補強×12箇所（建築工事）

●— 防火区画貫通処理箇所を示す×4箇所

⬚ 天井埋込形全熱交換器を示し、取外し、再取付を行う×6箇所
他器具等と取り合いがある場合は、現状位置から移設する

⬚ 天井ｶｾｯﾄ形全熱交換器を示し、取外し、再取付を行う×2箇所
他器具等と取り合いがある場合は、現状位置から移設する

２階平面図　S=1/100

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

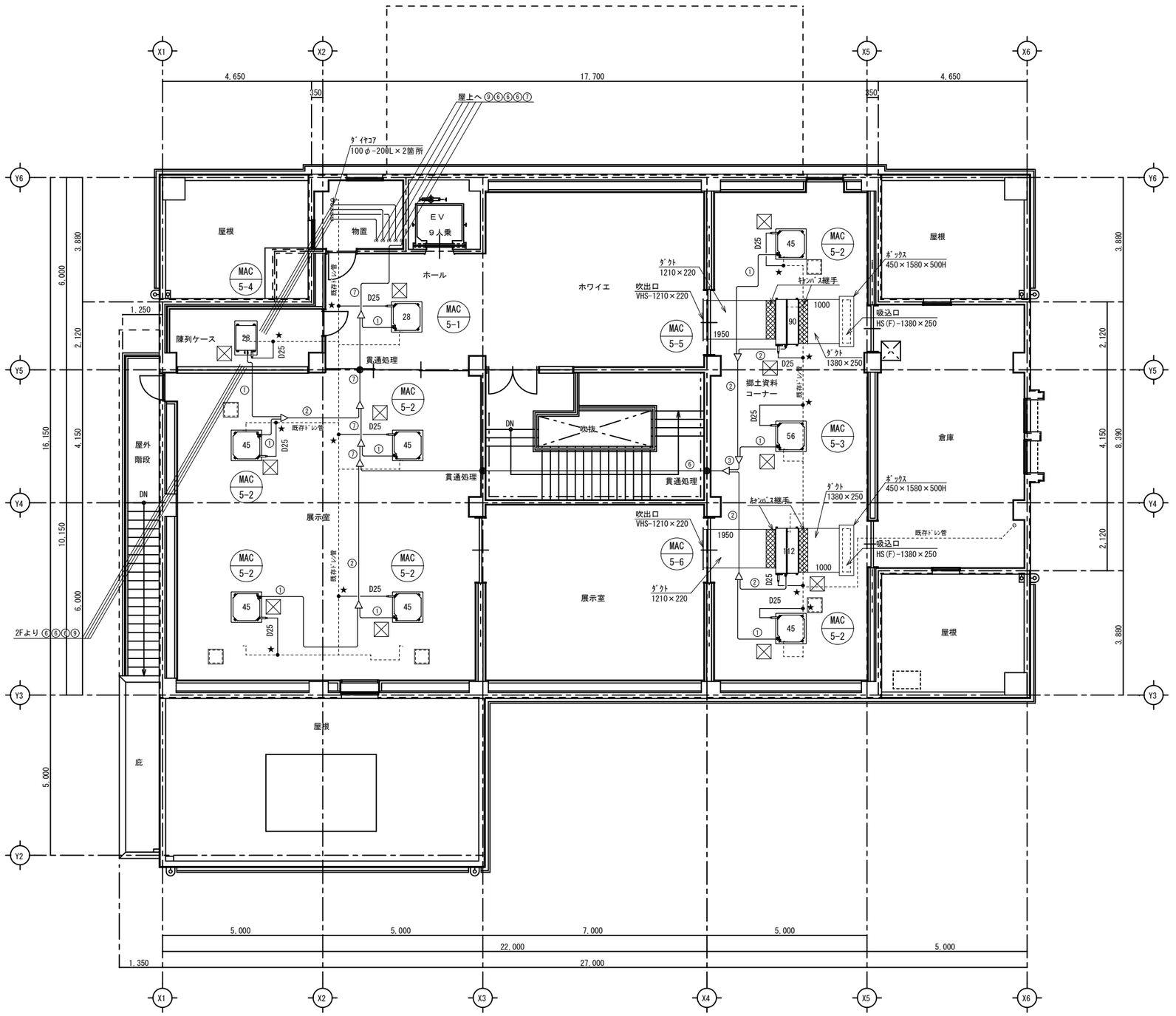
生第０８１１５号　野市図書館空調設備更新工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

２階空調設備図

SCALE 1/100

07 / M



★印は、既存ﾄﾞﾚﾝ配管接続を示す。

冷媒配管サイズリスト		
	液　管	ガス管
①	φ 6.4	φ12.7
②	φ 9.5	φ15.9
③	φ 9.5	φ19.1
④	φ 9.5	φ22.2
⑤	φ12.7	φ19.1
⑥	φ12.7	φ22.2
⑦	φ12.7	φ25.4
⑧	φ15.9	φ25.4
⑨	φ15.9	φ28.6

⊠ ｱﾙﾐ製天井点検口450口を示す（開口補強共）×11箇所（建築工事）
天井ｶｾｯﾄ形空調機天井開口補強×9箇所（建築工事）

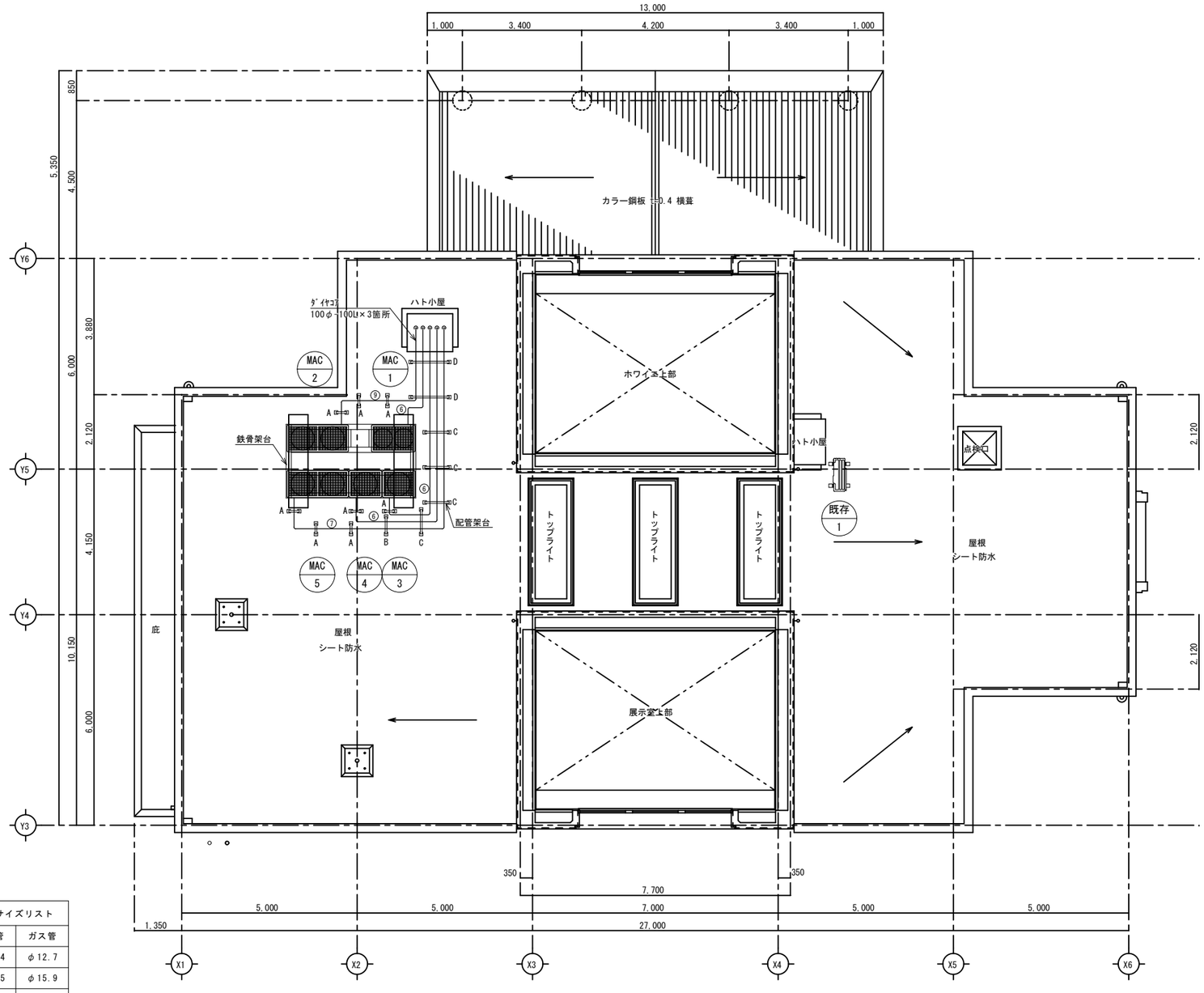
● 防火区画貫通処理箇所を示す×3箇所

⬚ 天井埋込形全熱交換器を示し、取外し、再取付を行う×5箇所
他器具等と取り合いがある場合は、現状位置から移設する

3階平面図　S=1/100

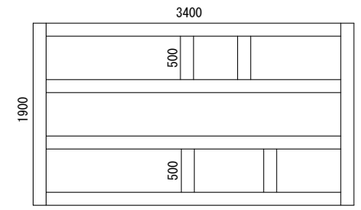
（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社 RI SE設計事務所	生第０８１１５号 野市図書館空調設備更新工事				３階空調設備図	SCALE 1/100
管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY		08 M



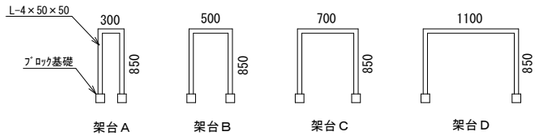
屋上平面図　　S=1/100

冷媒配管サイズリスト		
	液　管	ガス管
①	φ 6.4	φ12.7
②	φ 9.5	φ15.9
③	φ 9.5	φ19.1
④	φ 9.5	φ22.2
⑤	φ12.7	φ19.1
⑥	φ12.7	φ22.2
⑦	φ12.7	φ25.4
⑧	φ15.9	φ25.4
⑨	φ15.9	φ28.6



H形鋼 150×150×7×10
L=3400×3本
L=1900×2本
L=500×4本

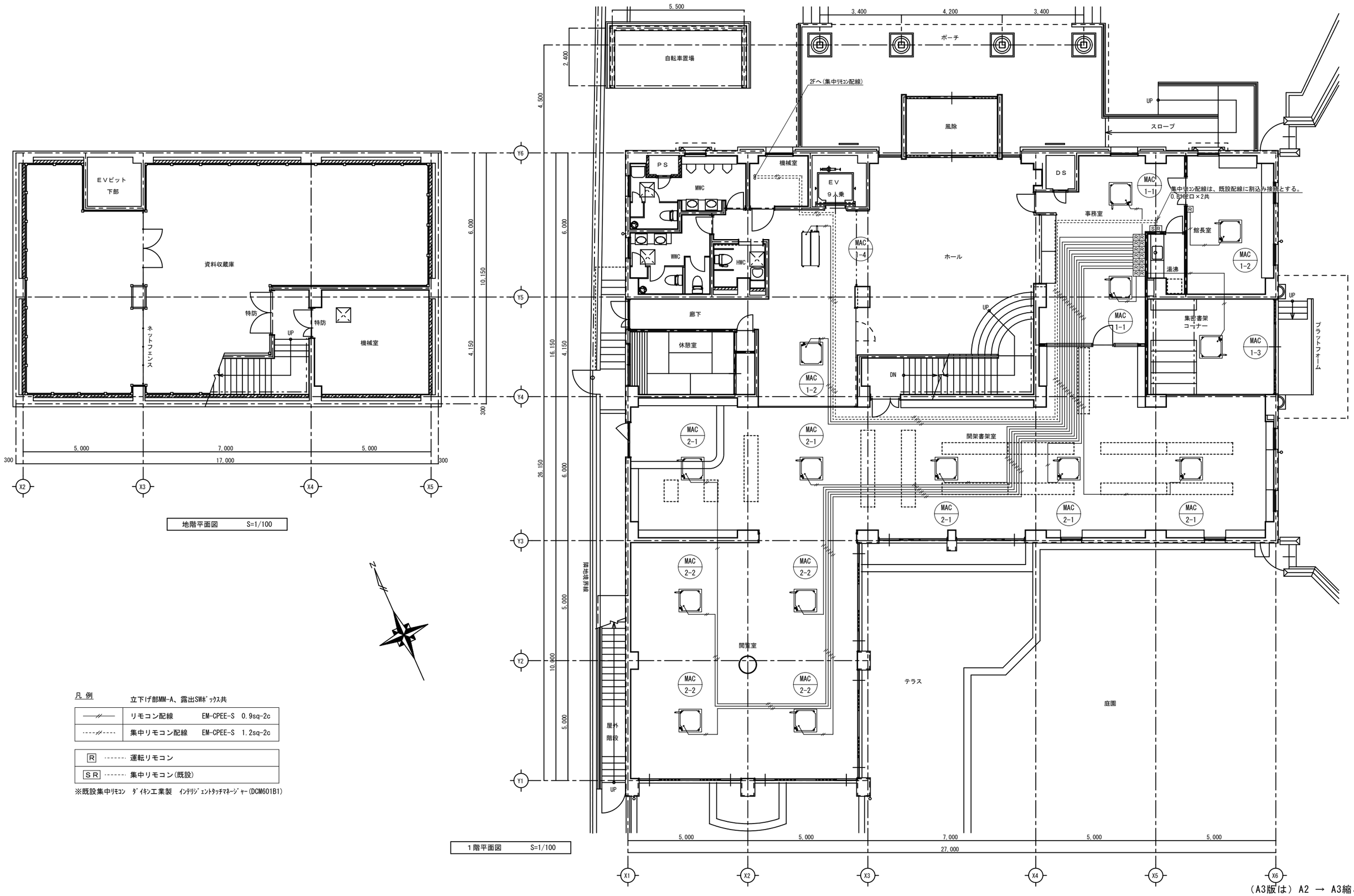
鉄骨架台詳細図 S=1/50



配管架台詳細図 S=1/50

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事 PLANNING NO. / DATE / DRAWING BY / CHECKED BY	屋上空調設備図	SCALE 1/100	09	M



地階平面図　S=1/100

1階平面図　S=1/100

凡 例

立下げ部MM-A、露出SWﾎﾞｯｸｽ共

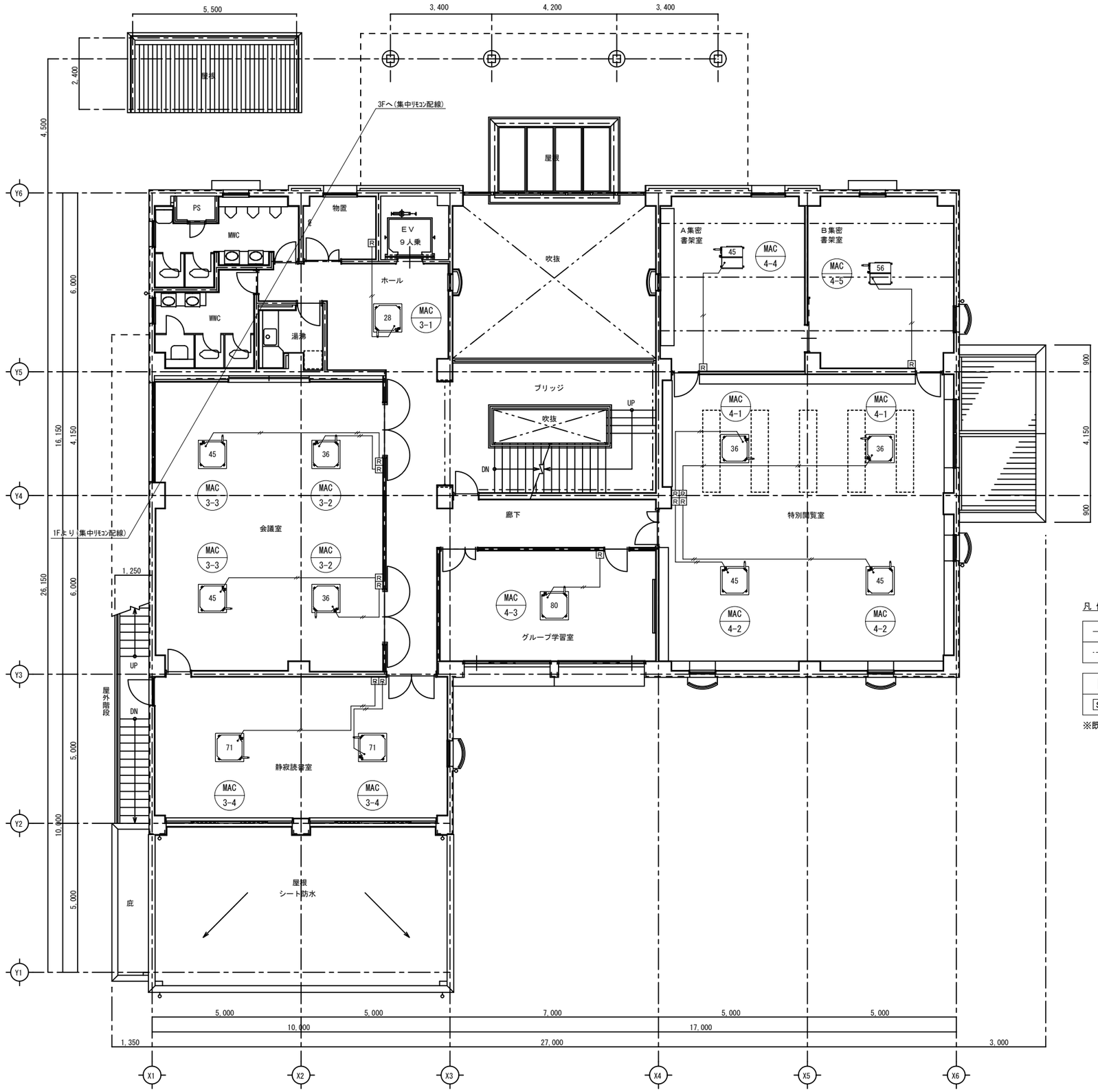
——//	リモコン配線	EM-CPEE-S 0.9sq-2c
----//----	集中リモコン配線	EM-CPEE-S 1.2sq-2c

R	運転リモコン
SR	集中リモコン(既設)

※既設集中ﾘﾓｺﾝ ﾀﾞｲｷﾝ工業製 ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾀｯﾁﾏﾈｰｼﾞｬｰ(DCM601B1)

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社 RI SE設計事務所	生第08115号 野市図書館空調設備更新工事				1階リモコン配線図
管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY	SCALE 1/100
					10 M



凡 例

立下げ部MM-A、露出SWﾎﾞｯｸｽ共

——//	リモコン配線	EM-CPEE-S 0.9sq-2c
----//----	集中リモコン配線	EM-CPEE-S 1.2sq-2c

R	運転リモコン
SR	集中リモコン（既設）

※既設集中ﾘﾓｺﾝ ﾀﾞｲｷﾝ工業製 ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾀｯﾁﾏﾈｰｼﾞｬｰ(DCM601B1)

２階平面図 S=1/100

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社 RI SE設計事務所

管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

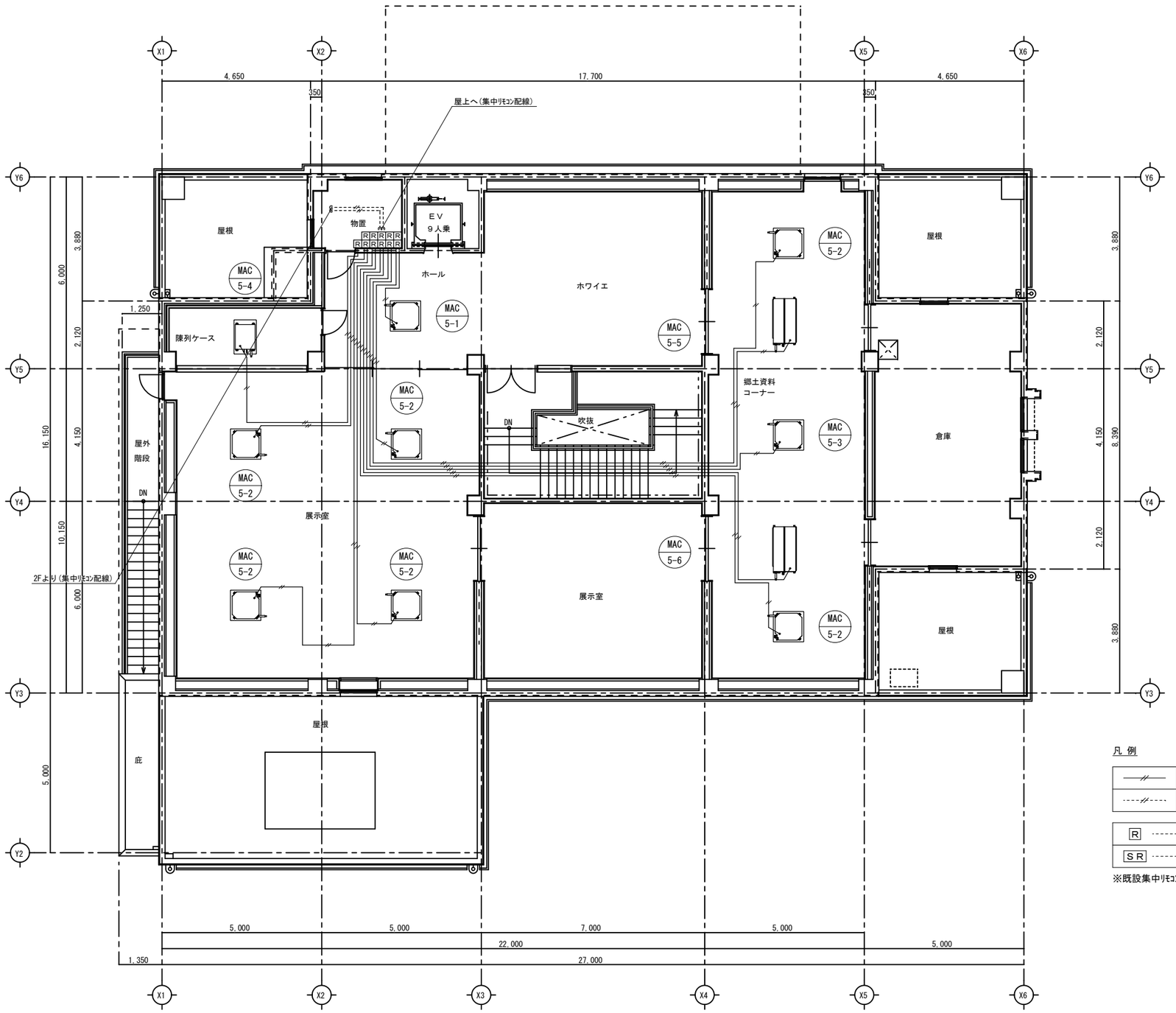
生第08115号 野市図書館空調設備更新工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

２階リモコン配線図

SCALE 1/100

11/M



凡 例

立下げ部MM-A、露出SWﾎﾞｯｸｽ共

——//——	リモコン配線	EM-CPEE-S 0.9sq-2c
----//----	集中リモコン配線	EM-CPEE-S 1.2sq-2c

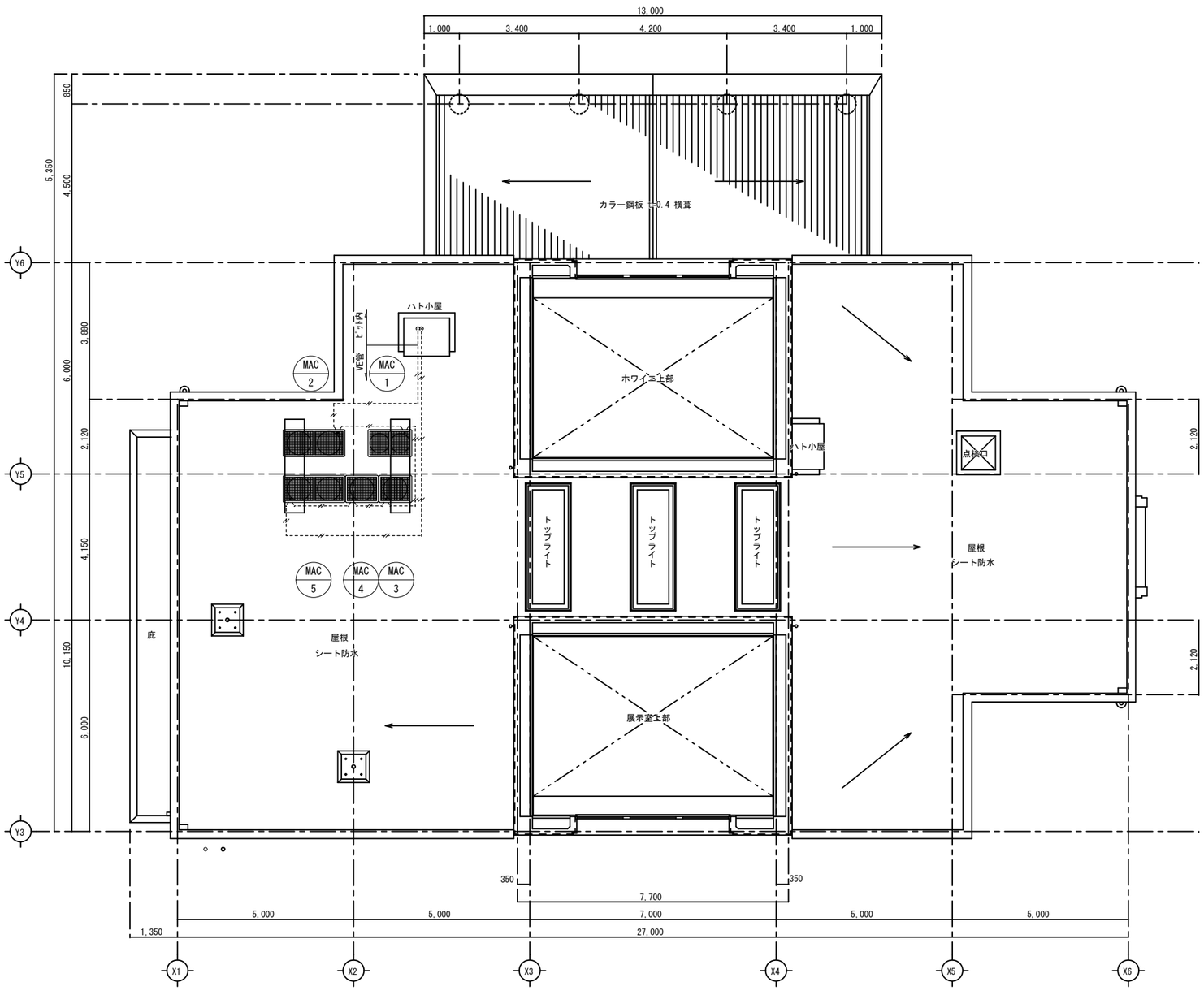
R	運転リモコン
SR	集中リモコン(既設)

※既設集中ﾘﾓｺﾝ ﾀﾞｲｷﾝ工業製 ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾀｯﾁﾏﾈｰｼﾞｬｰ(DCM601B1)

３階平面図 S=1/100

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社 RI SE設計事務所 管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史	生第08115号 野市図書館空調設備更新工事				３階リモコン配線図	SCALE 1/100
	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY		12/M



屋上平面図　　S=1/100

凡例

——//——	リモコン配線	EM-ECTF 0.75sq-2c
----//----	集中リモコン配線	EM-ECTF 1.25sq-2c

R	運転リモコン
SR	集中リモコン(既設)

※既設集中リモコン　ダイキン工業製　インテリジェントタッチマネージャー(DCM601B1)

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社 RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事 PLANNING NO. / DATE / DRAWING BY / CHECKED BY	屋上リモコン配線図	SCALE 1/100	13	M

空調機器撤去リスト

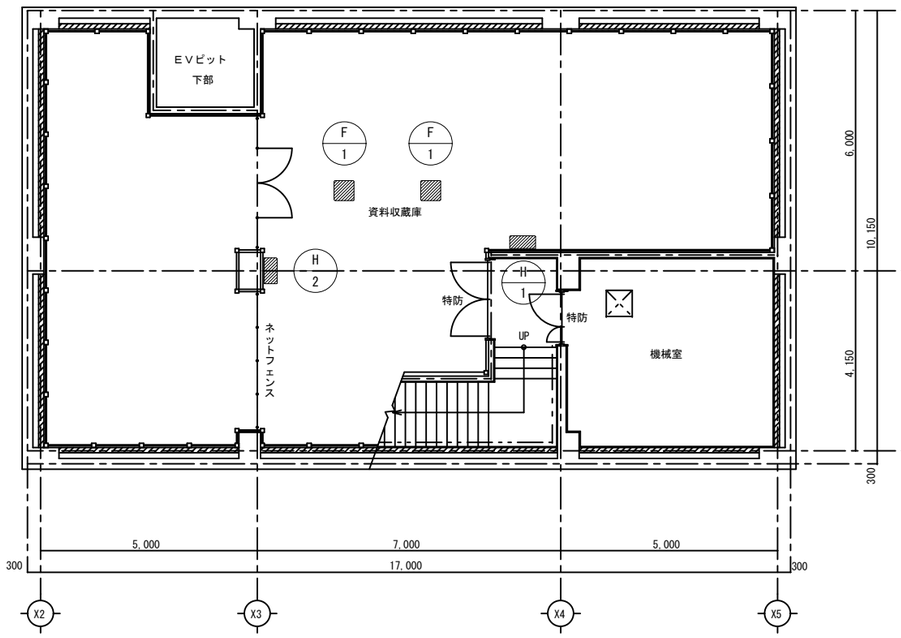
記号	名　称	形　式	冷房能力	暖房能力	定格消費電力	圧縮機 kw	電　源			機　種（参考型番）	台数	備　考
							電圧	室内	室外			
RR-1	空冷ヒートポンプ　産業用チリングユニット	室外機	180kW	190kW	冷却50.4kW　加熱51.3kW	30kW×1	3φ200V	×	○	CAH-P180OF	1	冷媒ガス(R407C) 81kg, 製品質量：2,050kg
FCU-2	ファンコイルユニット	天井埋込形	1,380kcal/h	2,180kcal/h	0.043kW	—	1φ100V	○	×	RF-206CIB	4	製品質量：21kg
FCU-3	ファンコイルユニット	天井埋込形	2,080kcal/h	3,070kcal/h	0.051kW	—	1φ100V	○	×	RF-306CIB	7	製品質量：24kg
FCU-4	ファンコイルユニット	天井埋込形	2,940kcal/h	4,360kcal/h	0.059kW	—	1φ100V	○	×	RF-406CIB	16	製品質量：28kg
FCU-6	ファンコイルユニット	天井埋込形	4,140kcal/h	6,110kcal/h	0.098kW	—	1φ100V	○	×	RF-606CIB	4	製品質量：34kg
FCU-8	ファンコイルユニット	天井埋込形	5,760kcal/h	8,480kcal/h	0.118kW	—	1φ100V	○	×	RF-806CIB	11	製品質量：46kg
FCU-12	ファンコイルユニット	天井埋込形	7,940kcal/h	10,960kcal/h	0.192kW	—	1φ100V	○	×	RF-1206CIB	1	製品質量：56kg
H-1	除湿機	床置形	除湿能力 2.2L/H		0.920kW	0.60	3φ200V	—	—	RK-08F3	1	冷媒ｶﾞｽ(R22) 0.5kg, 製品質量：45kg
H-2	除湿機	床置形	除湿能力 2.2L/H		0.800kW	0.675	1φ100V	—	—	KFH-P08RA-W	1	冷媒ｶﾞｽ(R407C) 0.61kg, 製品質量：45kg

換気機器撤去リスト

記号	名　称	形　式	ﾀﾞｸﾄ径 (φ)	風　量 (m3/h)	消費電力 (W)	騒　音 (dB)	電　源 (相/電圧)	台数	機　種	備　考（付属品等）
F-1	熱交換形換気扇	天井埋込形	100	強　117 弱　66	強　42.0 弱　28.0	強　40.0 弱　30.0	単相100Ｖ	2	FY-16ZB	製品質量：12.6kg

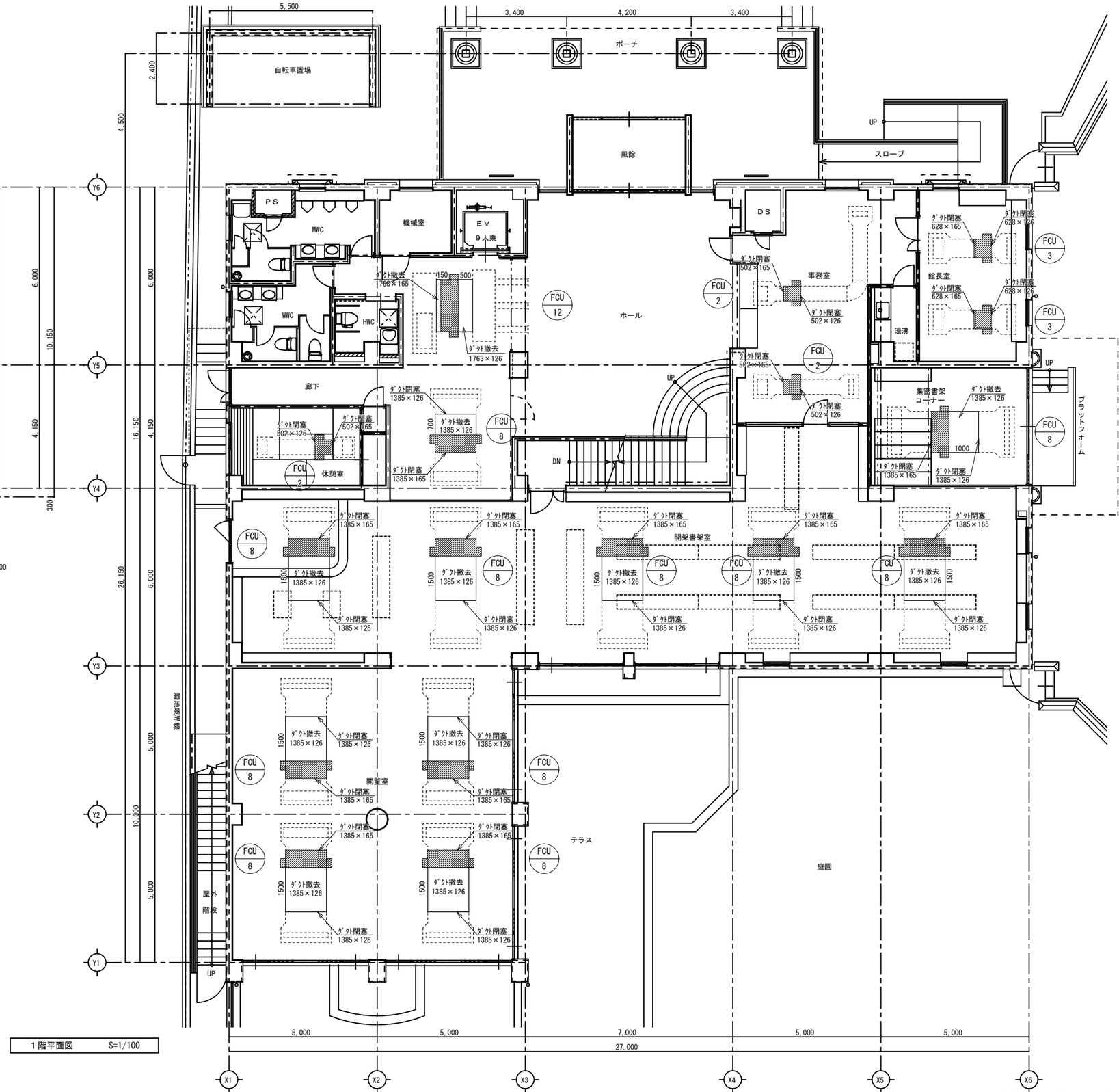
（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事 PLANNING NO. / DATE / DRAWING BY / CHECKED BY	撤去機器表	SCALE 1／NS	14／M



地階平面図　　S=1/100

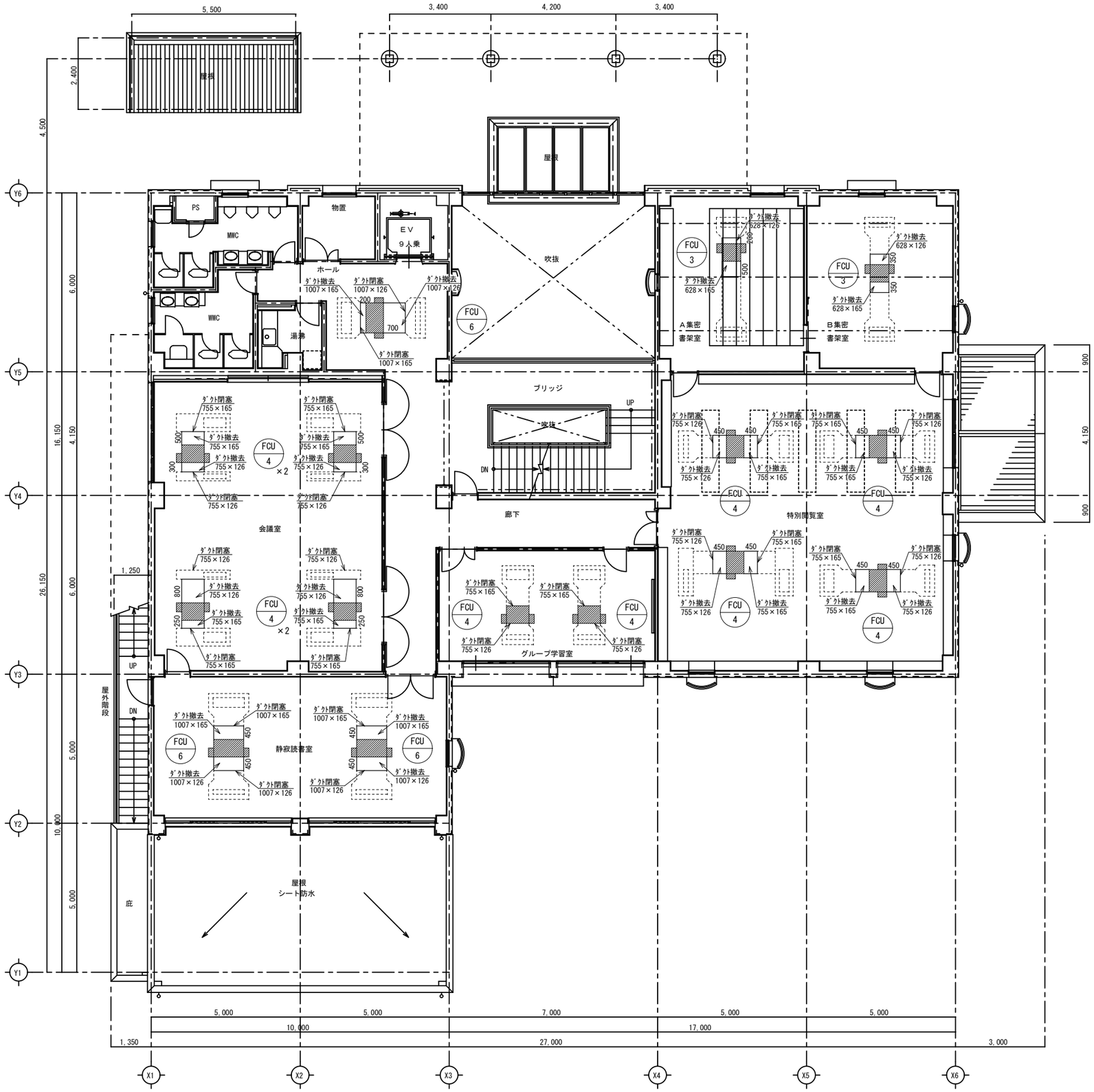
は、機器の撤去を示す。



１階平面図　　S=1/100

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事				１階撤去図	SCALE 1/100
	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY		15 M



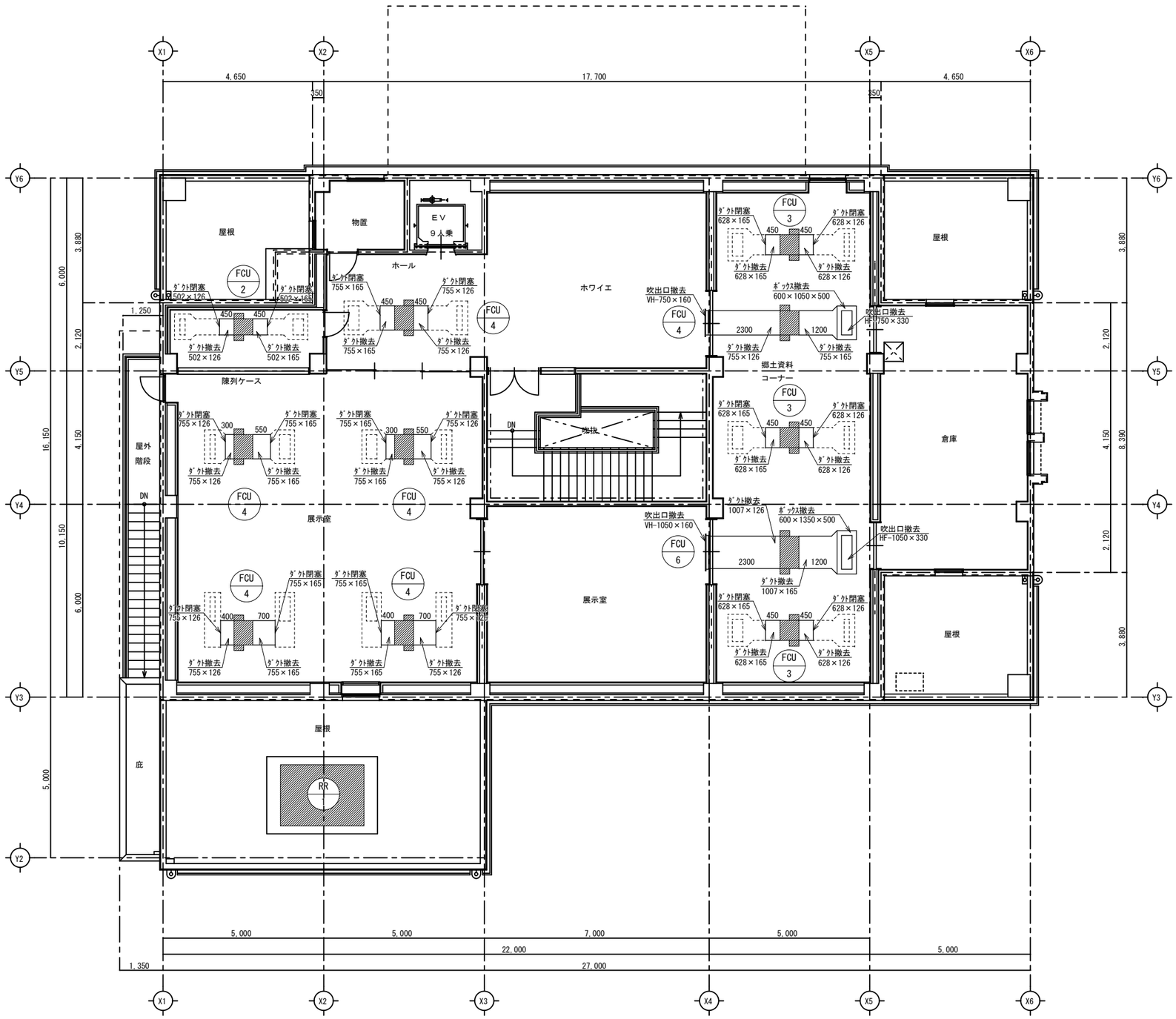
N

は、機器の撤去を示す。

２階平面図　S=1/100

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社 RI SE設計事務所 管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史	生第08115号 野市図書館空調設備更新工事				２階撤去図	SCALE 1/100
	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY		16 M

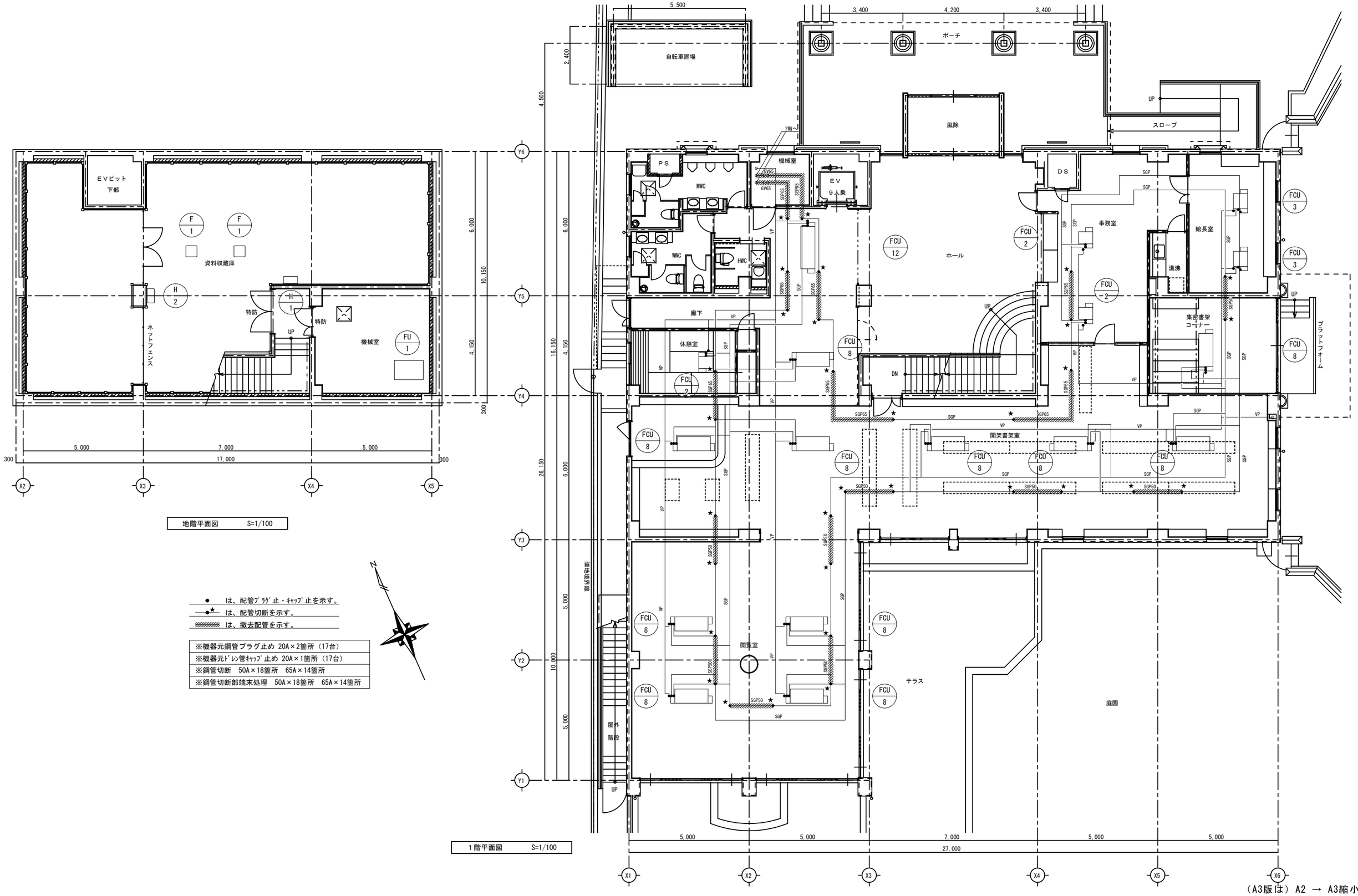


は、機器の撤去を示す。

３階平面図　　S=1/100

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社 RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事 PLANNING NO. / DATE / DRAWING BY / CHECKED BY	３階撤去図	SCALE 1/100	17 / M



地階平面図　S=1/100

１階平面図　S=1/100

●　は、配管ﾌﾟﾗｸﾞ止・ｷｬｯﾌﾟ止を示す。

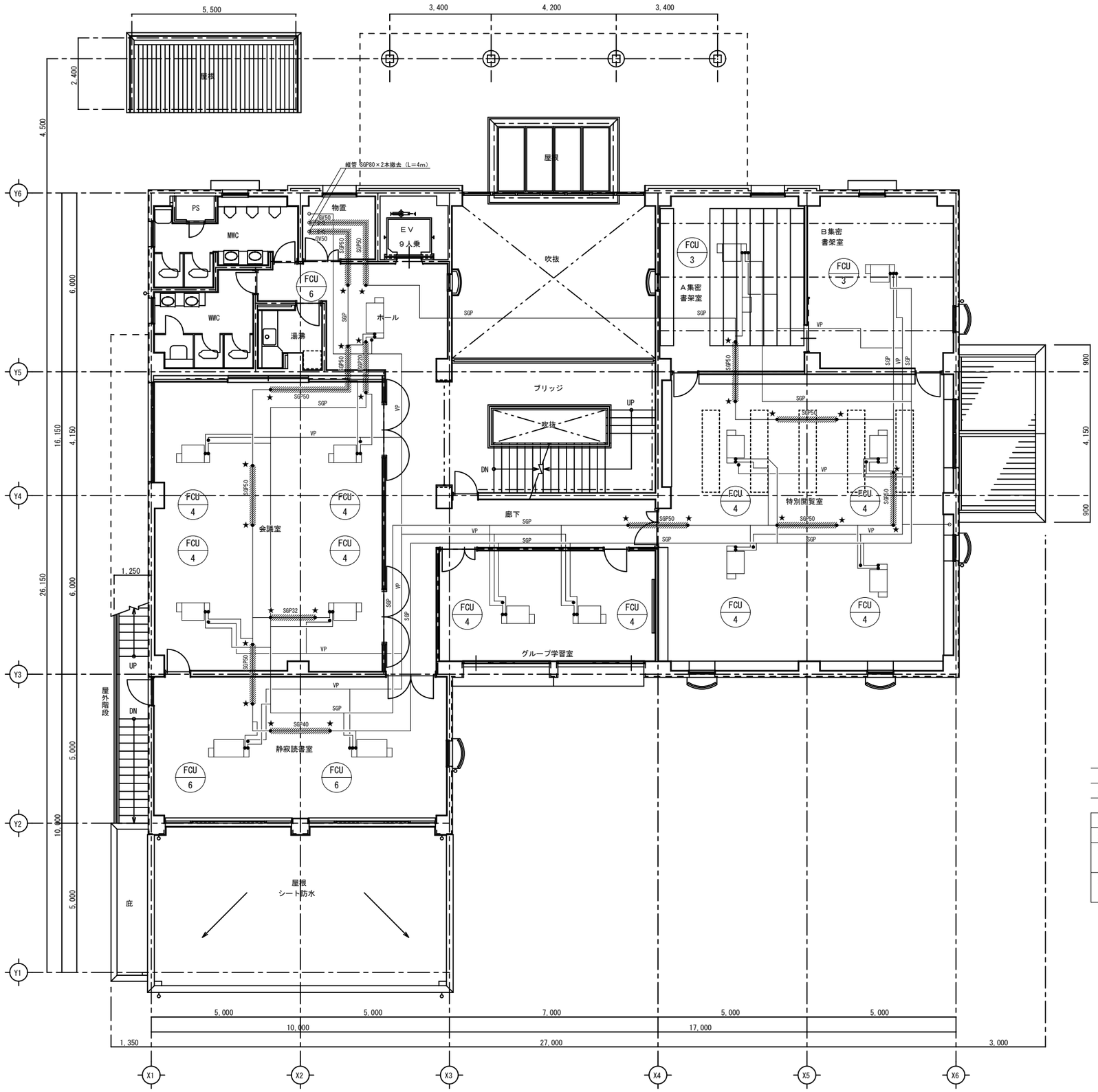
●★　は、配管切断を示す。

▨　は、撤去配管を示す。

※機器元銅管プラグ止め 20A×2箇所（17台）
※機器元ﾄﾞﾚﾝ管ｷｬｯﾌﾟ止め 20A×1箇所（17台）
※銅管切断　50A×18箇所　65A×14箇所
※銅管切断部端末処理　50A×18箇所　65A×14箇所

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社 RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事				１階配管撤去図	SCALE 1／100　18／M
	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY		



● は、配管ﾌﾟﾗｸﾞ止・ｷｬｯﾌﾟ止を示す。

●★ は、配管切断・端末処理を示す。

▨ は、撤去配管を示す。

※機器元鋼管プラグ止　20A×2箇所（15台）
※機器元ﾄﾞﾚﾝ管ｷｬｯﾌﾟ止　20A×1箇所（15台）
※鋼管切断　20A×2箇所　32A×2箇所 40A×2箇所　50A×18箇所
※鋼管切断部端末処理　20A×2箇所　32A×2箇所 40A×2箇所　50A×18箇所

２階平面図　S=1/100

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所

管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

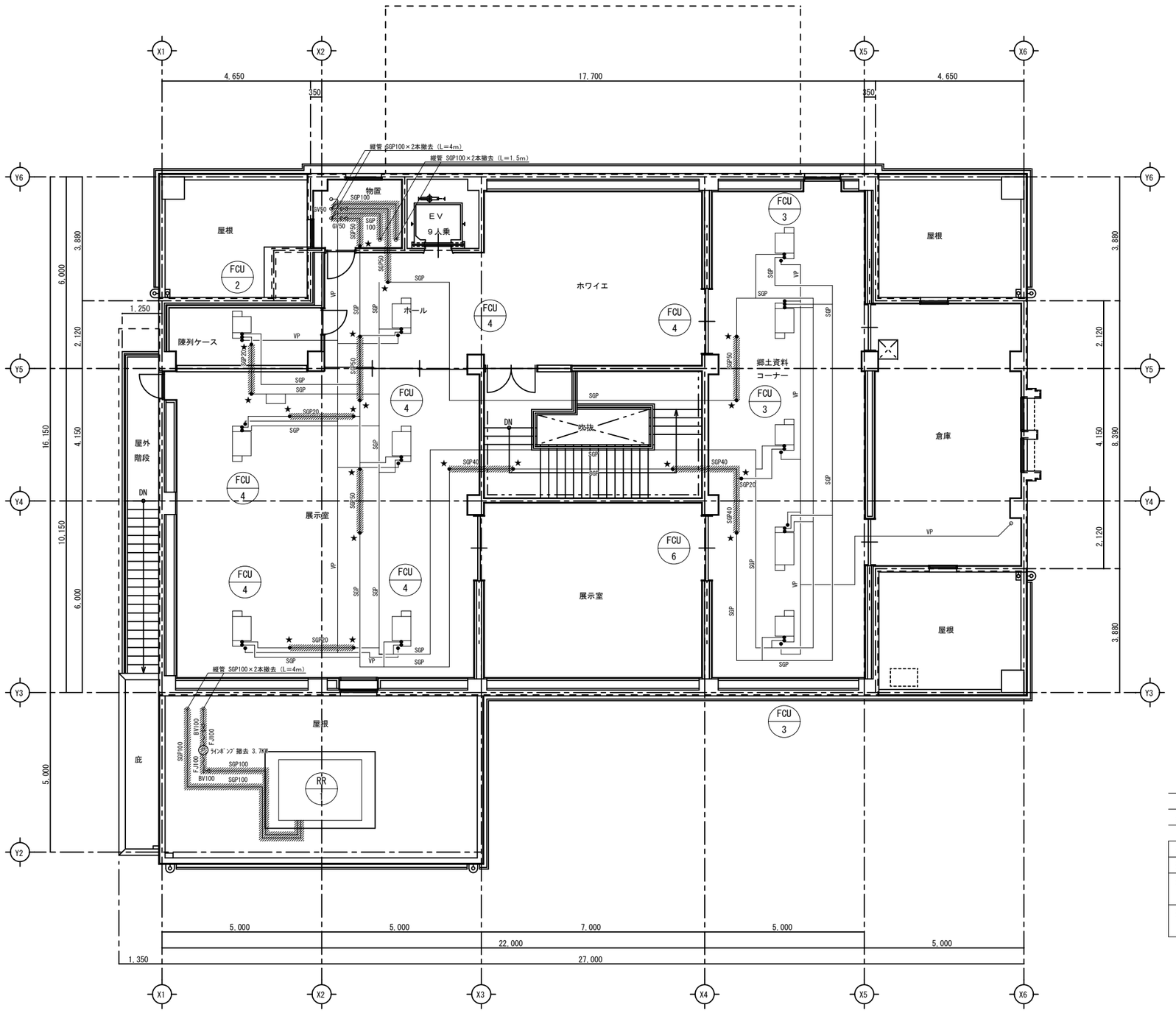
生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

２階配管撤去図

SCALE 1/100

19/M



● は、配管ﾌﾟﾗｸﾞ止・ｷｬｯﾌﾟ止を示す。

●★ は、配管切断・端末処理を示す。

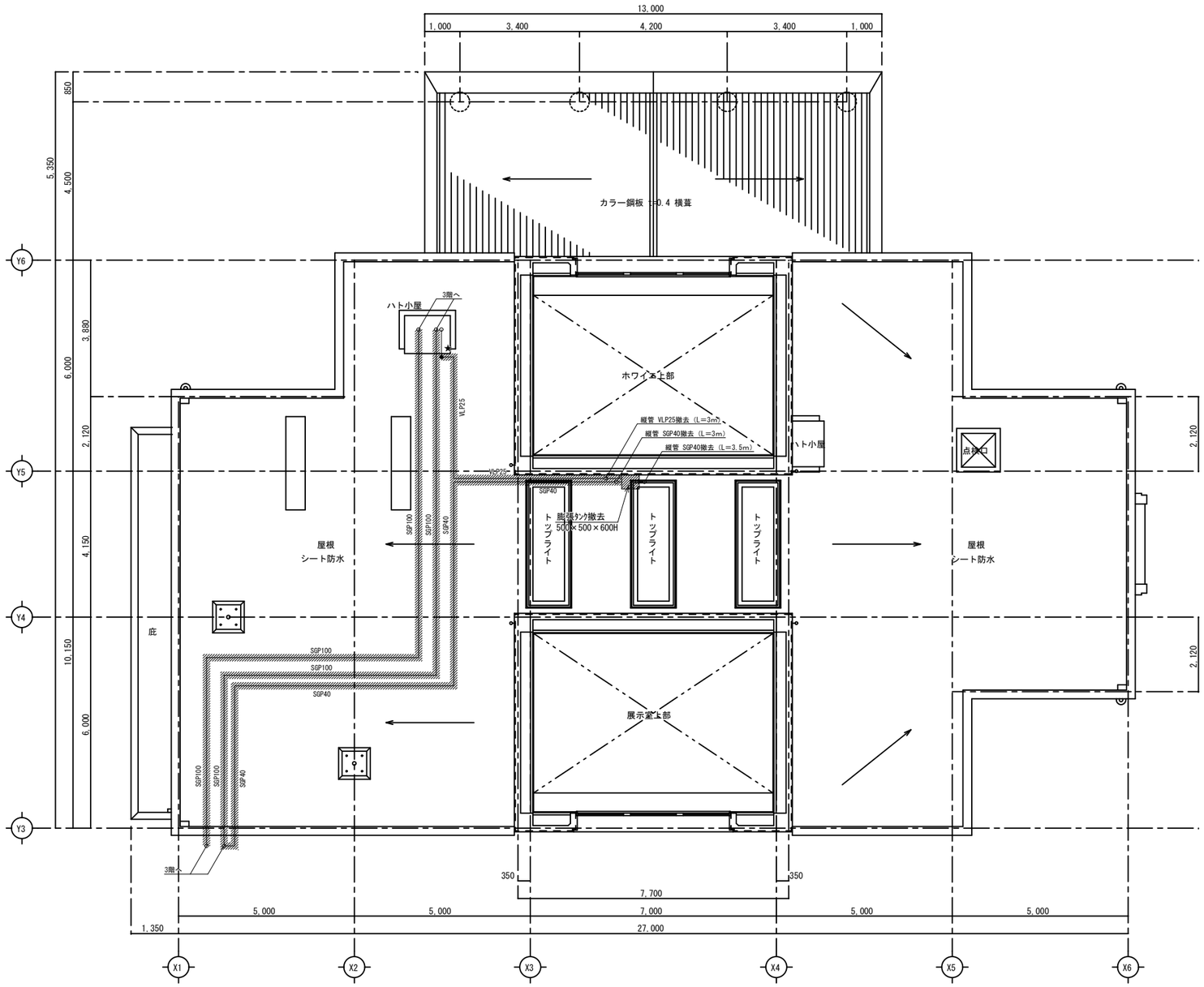
▨ は、撤去配管を示す。

※機器元銅管プラグ止　20A×2箇所（11台）
※機器元ﾄﾞﾚﾝ管ｷｬｯﾌﾟ止　20A×1箇所（11台）
※銅管切断　20A×7箇所　40A×4箇所 50A×8箇所
※銅管切断部端末処理　20A×7箇所　40A×4箇所 50A×8箇所

３階平面図　S=1/100

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事			３階配管撤去図	SCALE 1/100　20/M
	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY	



屋上平面図　　S=1/100

N

● は、配管ﾌﾟﾗｸﾞ止・ｷｬｯﾌﾟ止を示す。
—●★— は、配管切断・端末処理を示す。
▨ は、撤去配管を示す。

※鋼管切断　25A×1箇所
※鋼管切断部端末処理　25A×1箇所

（A3版は）A2 → A3縮小

株式会社　RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事				屋上配管撤去図	SCALE 1/100	21/M
	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY			

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1．　工　事　場　所　　高知県香南市野市町西野５９４

2．　建　物　概　要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令別表第一
図書館	RC造	３階建	1,540.08 ㎡	―――
		階建	㎡	
		階建	㎡	

（注）延べ面積は建築基準法による表記

3．　工事種目

建物別及び屋外 / 工事種目	屋内			
高圧引込設備				
空調電源設備	○			
受変電設備				
自家発電設備				
非常照明設備				
電話設備				
情報通信網設備				
インターホン設備				
テレビ共聴設備				
電気時計設備				
放送設備				
非常照明・誘導灯設備				
ﾄｲﾚ呼出表示設備				
防犯カメラ設備				
外灯設備				
構内線路				

Ⅱ　工　事　仕　様

1．　共　通　仕　様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版）及び電気設備工事標準図（令和４年版）による。

2．　特　記　仕　様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項　目	特　記　事　項
① 機材	設備機材等指定表による。
② 工事用電力,水,その他	本工事に必要な工事用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
	自家用電気工作物保安管理業務委託先 ⊙ 四国電気保安協会　・ 中央電気保安協会　・（　　）
③ 工事用仮設物	構内に作ることが　・ できる　⊙ できない
4 建設副産物	次のものは原則として再生クラッシャランを使用する。 （屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業）
	アスファルトは原則として再生品を使用する。
	工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ・構内指示の場所に敷きならし　・ 構外搬出適切処理
5 残土処分	
⑥ 産業廃棄物の処理について	高知県土木部建築課　特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。
⑦ 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ及び補強　スリーブ　※本工事　・ 別途工事 補　強　※別途工事　・ 本工事
	自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ ※別途工事　・ 本工事
	天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強　※別途工事(墨出しは本工事)　・ 本工事
	軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強　※本工事　・ 別途工事
	埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強　仮　枠　※本工事　・ 別途工事 補　強　※別途工事　・ 本工事

項　目	特　記　事　項
	照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート　※本工事　・ 別途工事
	屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット(ふたを含む)　※別途工事　・ 本工事
	屋外の受変電設備基礎　※本工事　・ 別途工事
	動力機器（電動機など）への接続　※本工事　・ 別途工事
	電話保安器用接地　※本工事　・ 別途工事
	図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。
⑧ 電線類	EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
	耐火ケーブル(FP)及び耐熱ケーブル(HP)はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。
9 呼び線	長さ１ｍ以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
⑩ フラッシュプレートの材質	・ 樹脂製　⊙ 新金属　・ ステンレス
11 ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ の用途別表示	シール等を貼付ける。
12 接地極	下記による。

接地の種類	記　号	接地抵抗値	接　地　極
共　同　接　地	EAED	10Ω以下	ＥＢ（14φ）x 3連－2組
Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ（14φ）x 3連－2組
Ｂ種	EB	150/Is Ω Is=1線地絡電流	ＥＢ（14φ）x 3連－2組
Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ（10φ）x 1
Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ（14φ）x 3連－2組
避　雷　用	EL	10Ω以下	ＥＰ x 1
高圧避雷用	ELH	10Ω以下	ＥＢ（14φ）x3 連－2組

13 埋設表示	避雷設備用及び共同接地極の表示　黄銅板製 上記以外の接地極及び地中配線の表示　100ø x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。
⑭ 再使用機器	取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付を行う。
⑮ 絶縁抵抗の測定	工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。
⑯ 補修など	工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
⑰ 屋上・屋側の支持金物	ステンレス製とする。（装柱金物は除く）
18 結露防止	内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
⑲ はつり	既存のコンクリート床・壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
⑳ 天井仕上区分	（室名）はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。
㉑ 配線器具	タンブラスイッチは大角型連用形とする。 壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。 単相200Ｖ、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。
22 ＬＥＤ照明器具・蛍光管	グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。
23 照明器具の接地	ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。
24 照明器具用位置ボックス	ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。 ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15Ａ以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。
25 非常用照明の照度測定	設置した各部屋2箇所以上
㉖ 分電盤分岐回路	分岐用配線用遮断機はJIS協約形２Ｐ５０ＡＦの１Ｐサイズとする。
27 テレビ共同受信設備	分岐器、分配器、直列ユニットはＢＳ・ＣＳ共用形（ＢＬ品）とする。　・双方向型 電界強度の測定　・ 要　・ 不要
28 構内埋設線路	埋設深さ　特記なきはＧＬ－ 600 以上とする。 地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。 地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。
㉙ 耐　震　施　工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針　２０１４年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 1）設計用水平地震力 機器の重量［Ｎ］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】

		⊙ 特定の施設		・ 一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 塔屋及び屋上	機　器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振支持の機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水槽類（※1）	2．0	1．5	1．5	1．0
中間階	機　器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振支持の機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水槽類（※1）	1．5	1．0	1．0	0．6
地下及び1階	機　器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振支持の機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水槽類（※1）	1．5	1．0	1．0	0．6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階２．０とする。

【備考】（※1）水槽類は、オイルタンク等を含む。

注：上層階の定義は次による。

２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階

１３階建以上の場合は上層４階

重要機器（　・ 自立配電盤　・ 防災用発電装置　・ 直流電源装置　）

（　・ 交流無停電電源装置　・ 交換機　・ 自動火災報知受信機）

（　・ 中央監視制御装置　⊙ 分電盤　・　　）

2）設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の２分の１とし、水平地震力と同時に働くものとする。

30 コンクリート工事／骨材	本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。
31 ハンドホール	ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。
㉜ 工事・完成写真	写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 工事写真の撮り方 建築設備編 平成24年版」による。 下記のものを監督職員に提出する。

区分	提出形式	備考
工事写真	Ａ４版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	Ａ４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
完成写真	Ａ４版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	Ａ４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

㉝ 工事完成図	共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。 Ａ４版　黒表紙金文字製本　１部　※要　⊙ 不要 Ａ３版　２ツ折り製本　2部　※要　・ 不要 ＣＡＤデータ　ＣＤ－Ｒ　※要　・ 不要
㉞ 機器取付高	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。 ただし、監督職員の指示により変更することがある。（住宅は別途協議）

名　称	測　点	取付高（mm）	名　称	測　点	取付高（mm）
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床上～中心	800
〃　（踊場）	〃	2,500	接地極埋設標	地上～中心	600
〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床上～下端	300
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	接地用端子箱	床上～下端	500
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上～中心	（天井高）x0.9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床上～中心	1,300	呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900
ｽｲｯﾁ、ｲﾝﾀｰﾎﾝ子機（身体障害者用）	〃	1,100	復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800
ｺﾝｾﾝﾄ、電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ、直列ﾕﾆｯﾄ（一般）	〃	300	廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
〃　（和室）	〃	150	テレビ機器収容箱	〃	1,800
〃　（台上）	台上～中心	150	火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
ｺﾝｾﾝﾄ（ガス漏れ検知器(LPガス)）	床上～中心	200	火報総合盤	床上～中心	800～1,500
分電盤、制御盤、親時計	〃	1,500 （上端1,900以下）	コンセント（車庫）	床上～中心	800
			ガス漏れ検知器（ＬＰガス）	床上～警報器上端	300
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室）	〃	1,500	〃　（都市ガス）	天井面～中心	（天井面）-200
インターホン、副受信機			引込開閉器箱（低圧）	床上～上端	2,000

備考　（天井高）x0.9は天井高が、2,500～3,000mmの場合に適用する。

㉟ 室内空気汚染
（揮発性有機化合物）対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板,木質系フローリング 構造用パネル,集成材 単板積層材,ＭＤＦ パーティクルボード,ユリア樹脂板 壁紙,緩衝材,断熱材 保温材,仕上げ塗材	Ｆ☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゲンを含有していない水性系のものとする。
③ 木材保存剤 （防腐処理、防蟻処理等）	クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤,木工事用接着剤 配管用接着剤,接合剤	1)ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼンを含有してないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル,フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	（①②③④の建築材料を使用する場合はＦ☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品を使用する。）

室内に関わる材料（上記①～④及び建具,シール材,その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼン,フタル酸ジーｎ－ブチル,フタル酸ジ-２-ヘエチルヘキシル,クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

機　　材　　名	指　定　品
電線管類・同付属品	ＪＩＳマーク表示品
電　線　類　等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共工事標準仕様書（電気設備工事編）
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関の認定または評価された旨の表示をしたもの
配線器具類	ＪＩＳマーク表示品
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品
電磁接触器 JIS C 8201-1,JIS C 8201-4-1 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	ＪＩＳマーク表示品
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会のＪＩＬ適合マークが貼付されたもの
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定委員会の自主評定マークが貼付されたもの
非常放送装置の蓄電池	ＪＥＡ蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定証票が貼付されたもの
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
構内交換装置	（財）電気通信端末機器審査協会の認定品

機　　材　　名	指　定　品

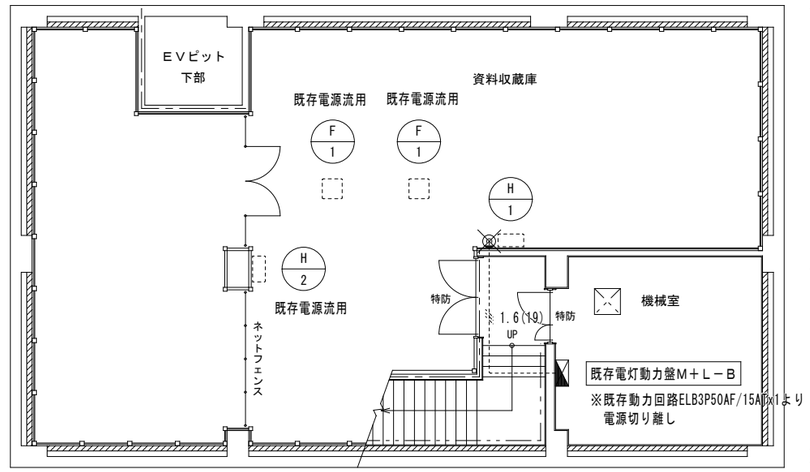
機　　材　　名	メーカー名
高周波点灯形蛍光灯安定器	東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）
蛍光灯器具 LED照明器具	上記３社のほか 岩　崎　電　気　（株） 東和ライティング（株） (株)ＹＡＭＡＧＩＷＡ （株）因幡電機製作所 （株）遠藤照明 大光電機（株） 山田照明（株）
照明制御装置	東芝ライテック(株) パナソニック（株） 三菱電機照明(株)
可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機(株) 三　菱　電　機　（株） （株）安川電機
高圧交流遮断機（真空）	東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日　新　電　機　（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御(株) 三　菱　電　機　（株） （株）明　　電　　舎
高圧限流ヒューズ	(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株) 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三菱電機(株)
高圧負荷開閉器	エナジーサポート(株) 大垣電機（株） （株)新愛知電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ(株) （株）戸上電機製作所 日本高圧電気(株) （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三　菱　電　機　（株）
高圧進相コンデンサ ※１　モールドコンデンサに限る	（株）指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） ニ　チ　コ　ン　（株） 日　新　電　機　（株） 三　菱　電　機　（株） 利　昌　工　業（株）　※１
高圧用変圧器 ※２　モールド変圧器に限る	愛知電機（株） 四　変　テ　ッ　ク（株） （株）ダ　イ　ヘ　ン タカオカ化成工業（株）※２ （株）東　光　高　岳 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日　新　電　機　（株） (株)日立産機システム 富士電機(株) 三　菱　電　機　（株） （株）明　　電　　舎 利　昌　工　業（株）　※２

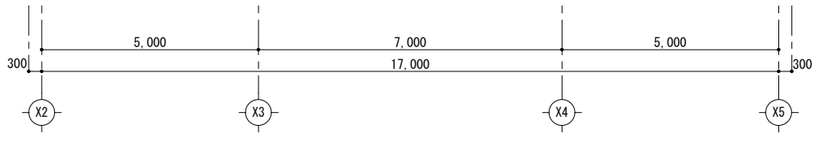
機　　材　　名	メーカー名
蓄電池 ﾍﾟﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池 ※３　据置ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池に限る	（株）GSユアサ 日立化成(株) 古河電池(株) 本多電機（株）　※３
監視カメラ装置	㈱JVCｹﾝｳｯﾄﾞ・公共産業ｼｽﾃﾑ ＴＯＡ（株） パナソニック（株） (株)日立国際電気 三菱電機(株)
盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共栄電機工業（株） 光　電　設　（株） 上記の他、３０年版「建築材料・設備機材等品質性能評価事業評価名簿」に掲載されたもの
太陽光発電装置	（株）三社電機製作所 山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） パナソニック（株） 富士電機（株） 三菱電機（株） （株）京ｾﾗｿｰﾗｰｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ
交流無停電電源装置（UPS）	サンケン電気（株） （株）三社電機製作所 山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日立化成(株) （株）日立製作所 富士電機（株） 古　河　電　池　（株） 三菱電機（株） （株）明電舎

機　　材　　名	メーカー名

改修前

×印は撤去（既存機器・配線撤去、既存配管は残置とする）
------ は既存品及び配線管流用

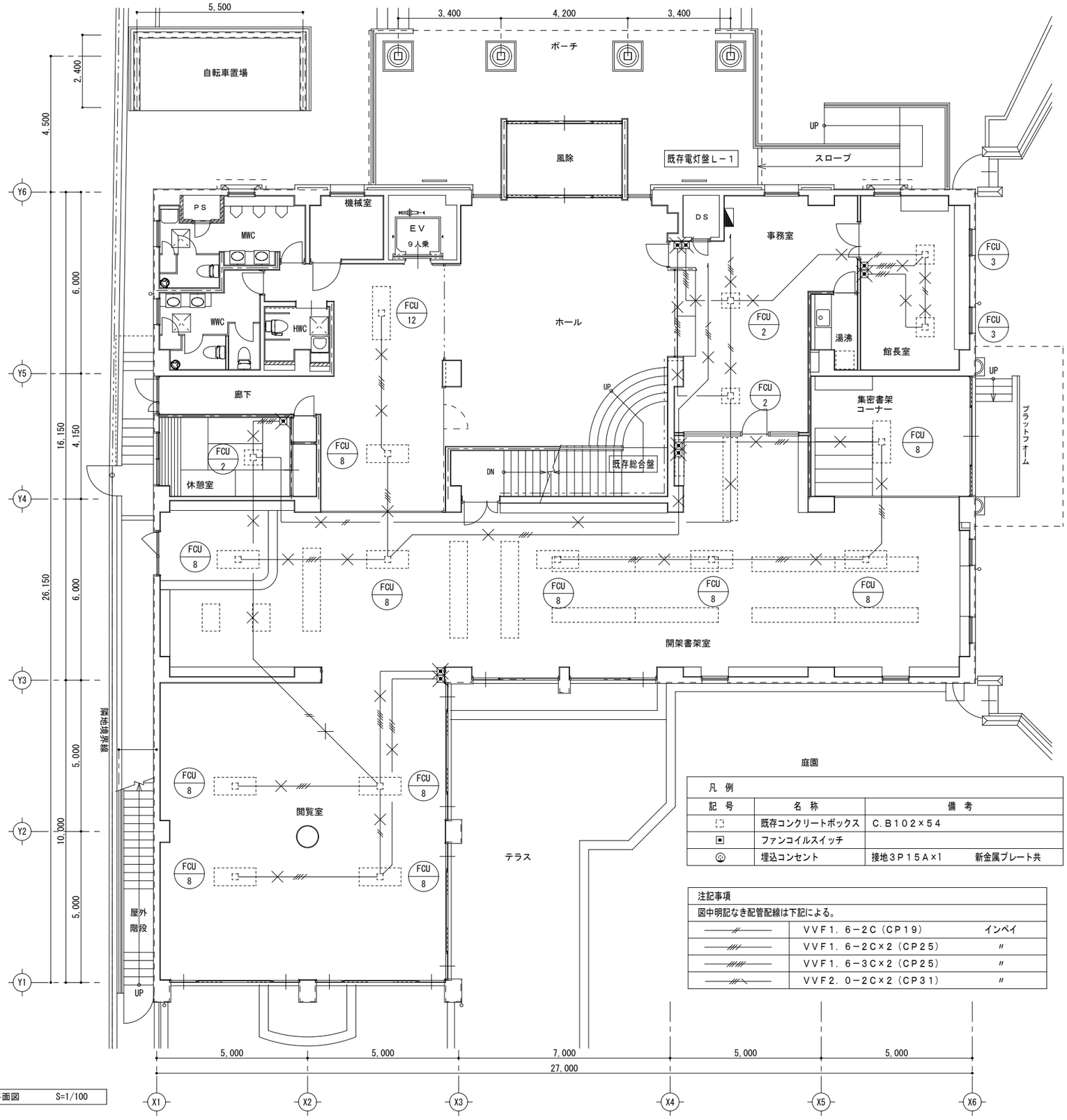




地階平面図　　S=1/100

空調機器撤去リスト　※機器の撤去は機械設備工事

記号	名称	形式	定格消費電力	圧縮機 kw	電源 電圧	電源 室内	電源 室外	機種（参考型番）	台数
RR-1	空冷ヒートポンプ　産業用チリングユニット	室外機	冷却50.4kW　加熱51.3kW	30kW×1	3φ200V	×	○	CAH-P180OF	1
FCU-2	ファンコイルユニット	天井吊形	0.043kW	—	1φ100V	○	×	RF-206CIB	4
FCU-3	ファンコイルユニット	天井吊形	0.051kW	—	1φ100V	○	×	RF-306CIB	7
FCU-4	ファンコイルユニット	天井吊形	0.059kW	—	1φ100V	○	×	RF-406CIB	16
FCU-6	ファンコイルユニット	天井吊形	0.098kW	—	1φ100V	○	×	RF-606CIB	4
FCU-8	ファンコイルユニット	天井吊形	0.118kW	—	1φ100V	○	×	RF-806CIB	11
FCU-12	ファンコイルユニット	天井吊形	0.192kW	—	1φ100V	○	×	RF-1206CIB	1
H-1	除湿機	床置形	0.920kW	0.60	3φ200V	—	—	RK-08F3	1
H-2	除湿機	床置形	0.800kW	0.675	1φ100V	—	—	KFH-P08RA-W	1
F-1	熱交換形換気扇	天井埋込形	強　0.042KW	—	1φ100V	○	—	FY-16ZB	2



１階平面図　　S=1/100

凡例

記号	名称	備考
⬚	既存コンクリートボックス	C.B102×54
◉	ファンコイルスイッチ	
⊕	埋込コンセント	接地3P15A×1　新金属プレート共

注記事項

図中明記なき配管配線は下記による。

／／	VVF1.6−2C（CP19）	インペイ
／／／	VVF1.6−2C×2（CP25）	〃
／／／／	VVF1.6−3C×2（CP25）	〃
／／／／／	VVF2.0−2C×2（CP31）	〃

株式会社　RI SE設計事務所
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

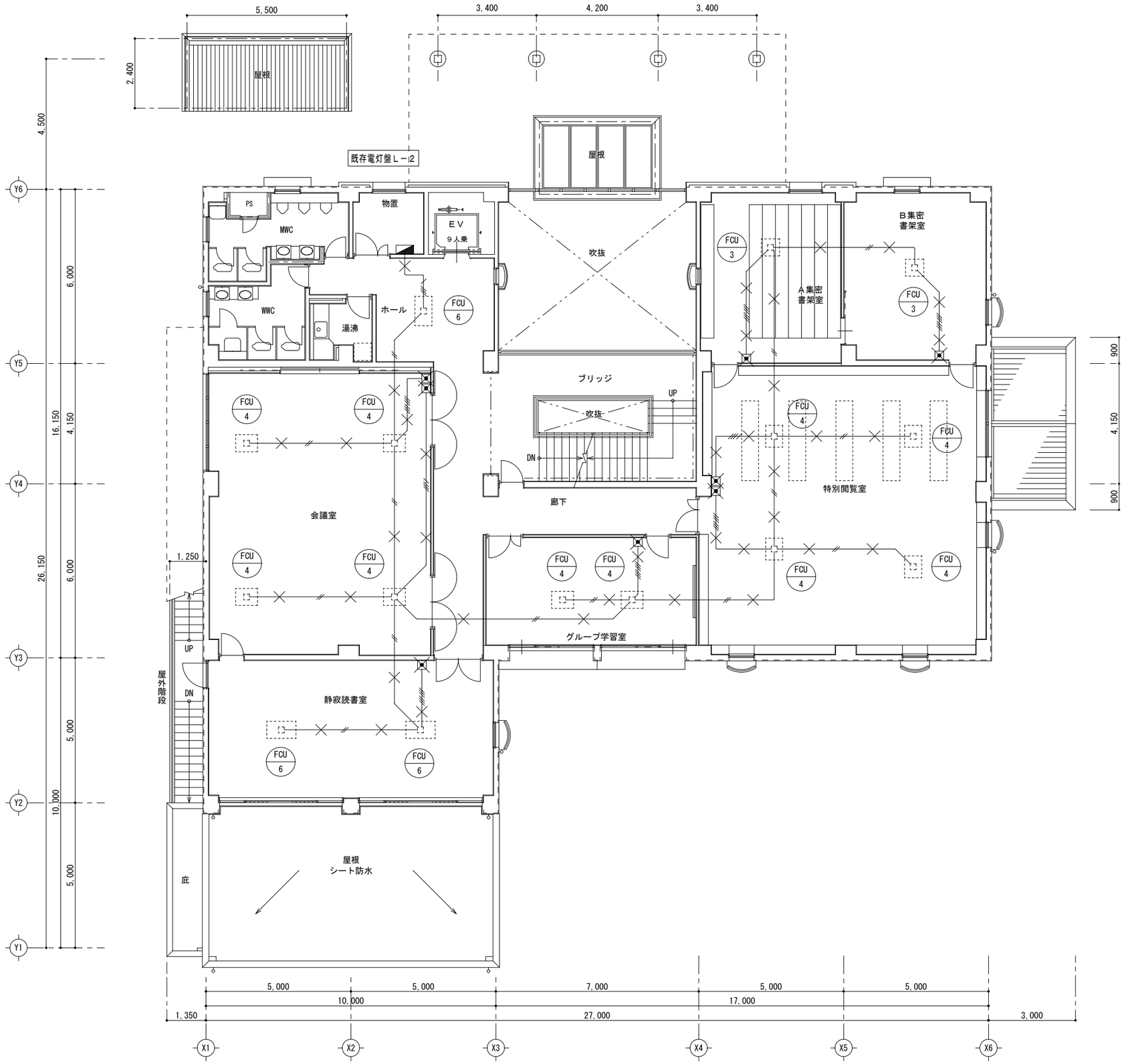
PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

地階・１階配管撤去図

SCALE 1/100

03
E

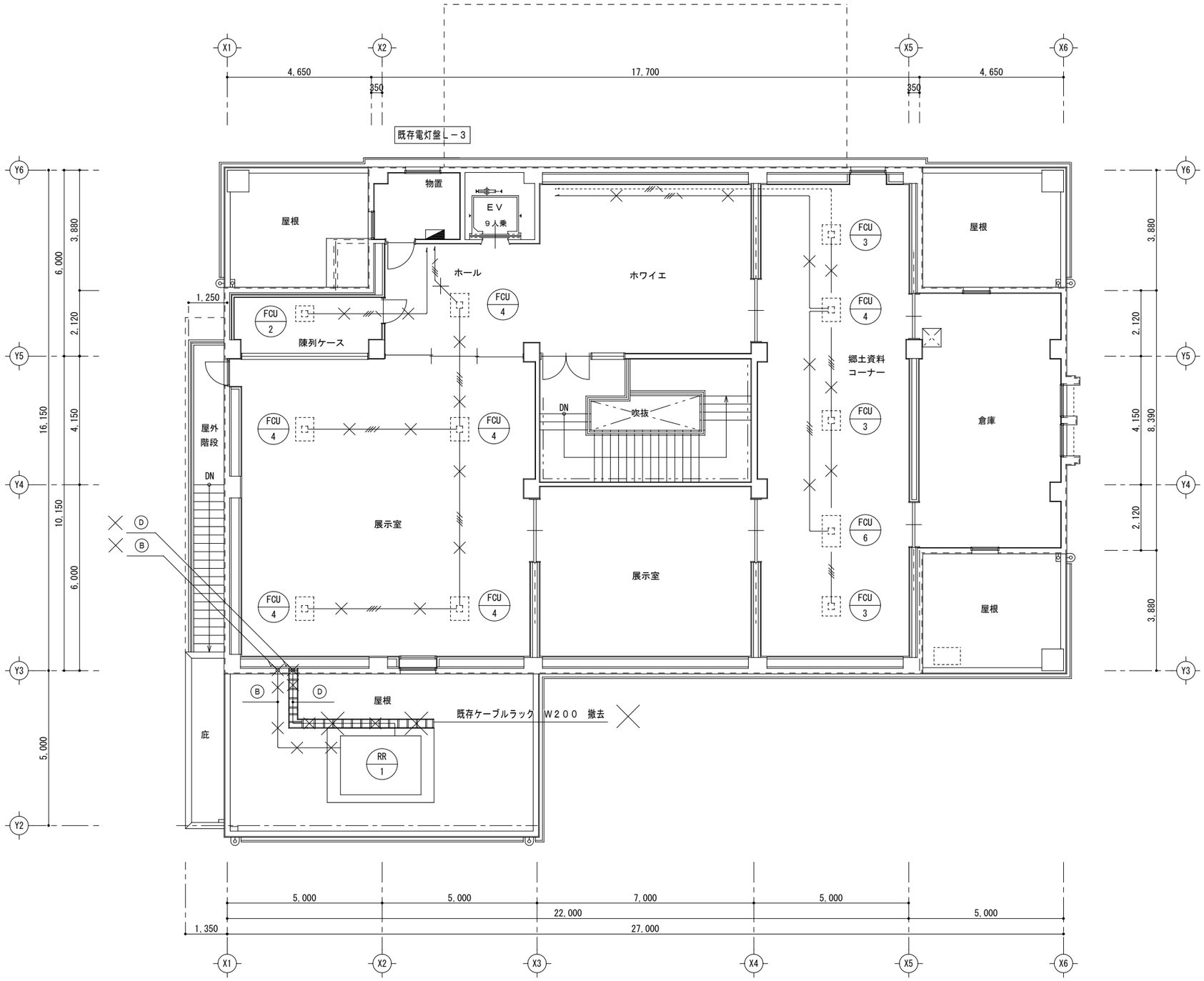
改修前



２階平面図　S=1/100

株式会社　RI SE設計事務所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事				２階撤去設備図	SCALE 1/100　04/E
	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY		

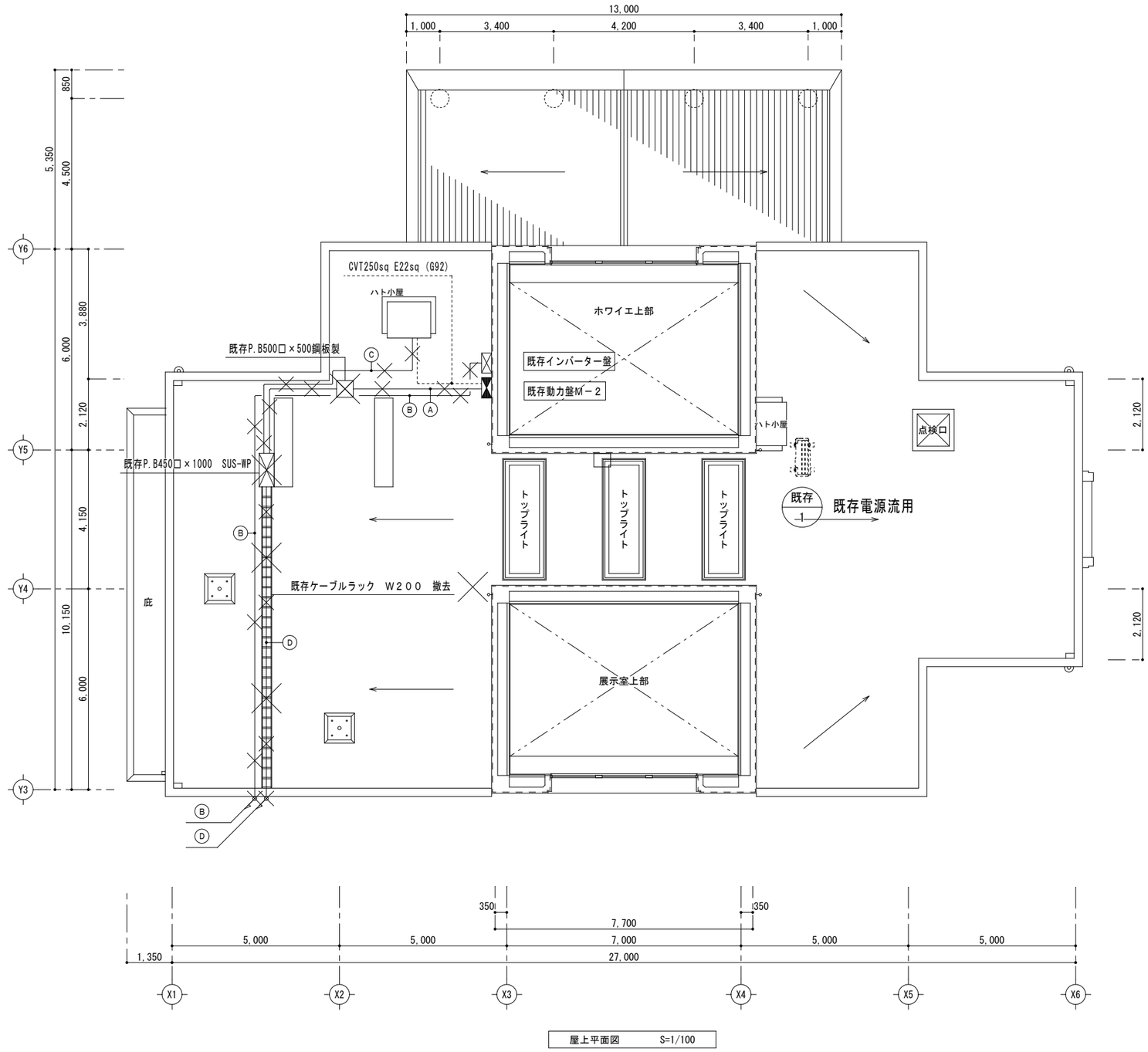
改修前



３階平面図　　S=1/100

株式会社　RI SE設計事務所		生第08115号　野市図書館空調設備更新工事			３階撤去設備図
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY	SCALE 1/100　05/E

改修前



屋上平面図　S=1/100

★３階屋上の空冷ヒートポンプチラーの撤去に伴う配線・配管は全て撤去とする。

	配線リスト		
Ⓐ	空冷ヒートポンプチラー	電源	CV5.5sq-3C E2.0（GP28）
	〃	〃	CVT250sq E22（GP92）
	〃	ポンプ運転指令・ポンプインターロック	CVV2sq-4C
Ⓑ	空冷ヒートポンプチラー	ポンプ運転指令・状態	CPEV0.9-6P（GP42）
	〃	冷温水温度設定	CVVS1.25sq-2C （GP42）
	〃	温度	CVVS1.25sq-3C×２
Ⓒ	リモコン		CVVS2sq-2C(GP28)
Ⓓ	空冷ヒートポンプチラー	電源	CV5.5sq-3C E2.0（ﾗｯｸ）
	〃	〃	CVT250sq E22（ﾗｯｸ）
	〃	ポンプ運転指令・ポンプインターロック	CVV2sq-4C（ﾗｯｸ）
	リモコン		CVVS2sq-2C(ﾗｯｸ)

株式会社　RI SE設計事務所
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

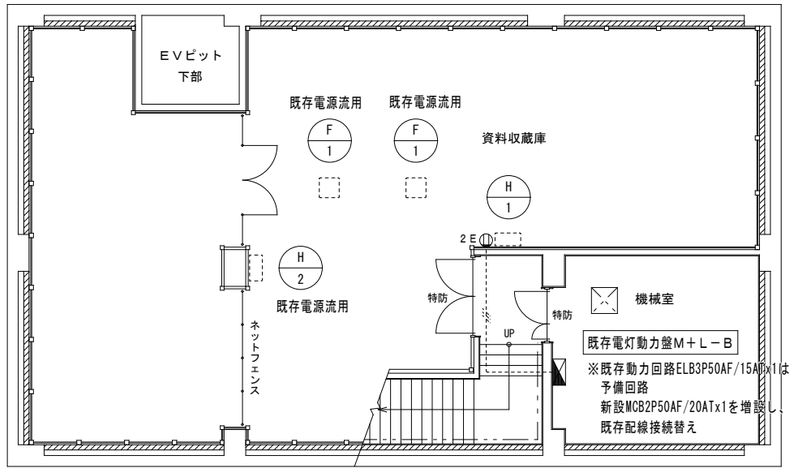
屋上配管撤去図

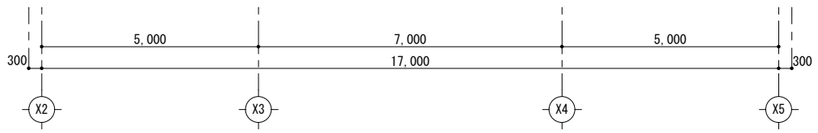
SCALE 1/100

06
E

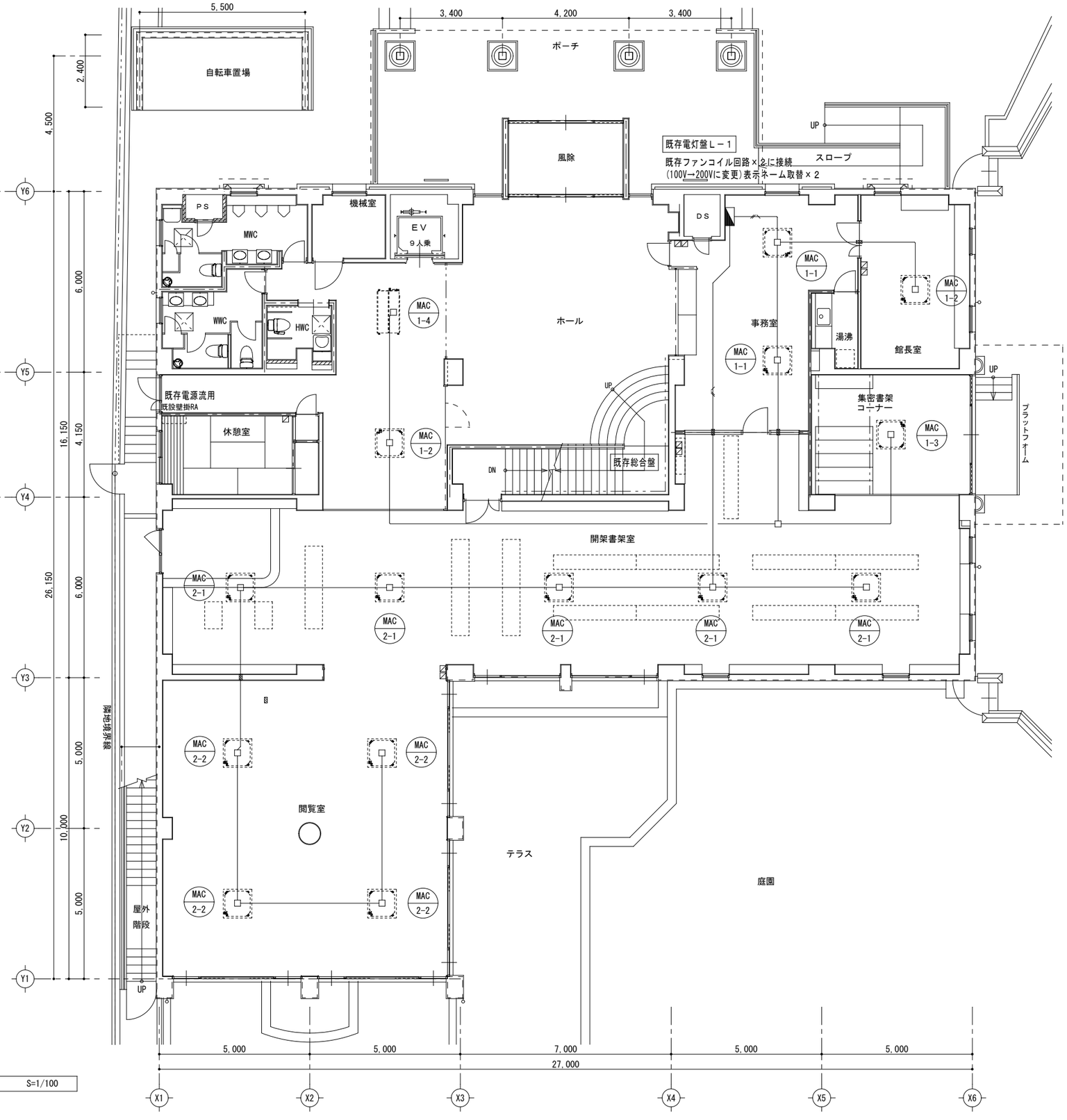
改修後

------は既存品及び配線管流用





地階平面図　S=1/100



１階平面図　S=1/100

凡　例		
記　号	名　称	備　考
□	ジョイントボックス	Ｏ.Ｂ１０２×５４
▨	カバープレート	新金属プレート共
ⓘ 2E	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２　　新金属プレート共

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
———	ＥＥＦ１．６－３Ｃ	コロガシ
———//———	ＥＥＦ２．０－３Ｃ	〃
分電盤への立下りは既存配管流用		
▭ 貫通補修Φ28㎜　200程度		

株式会社　RI SE設計事務所

管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

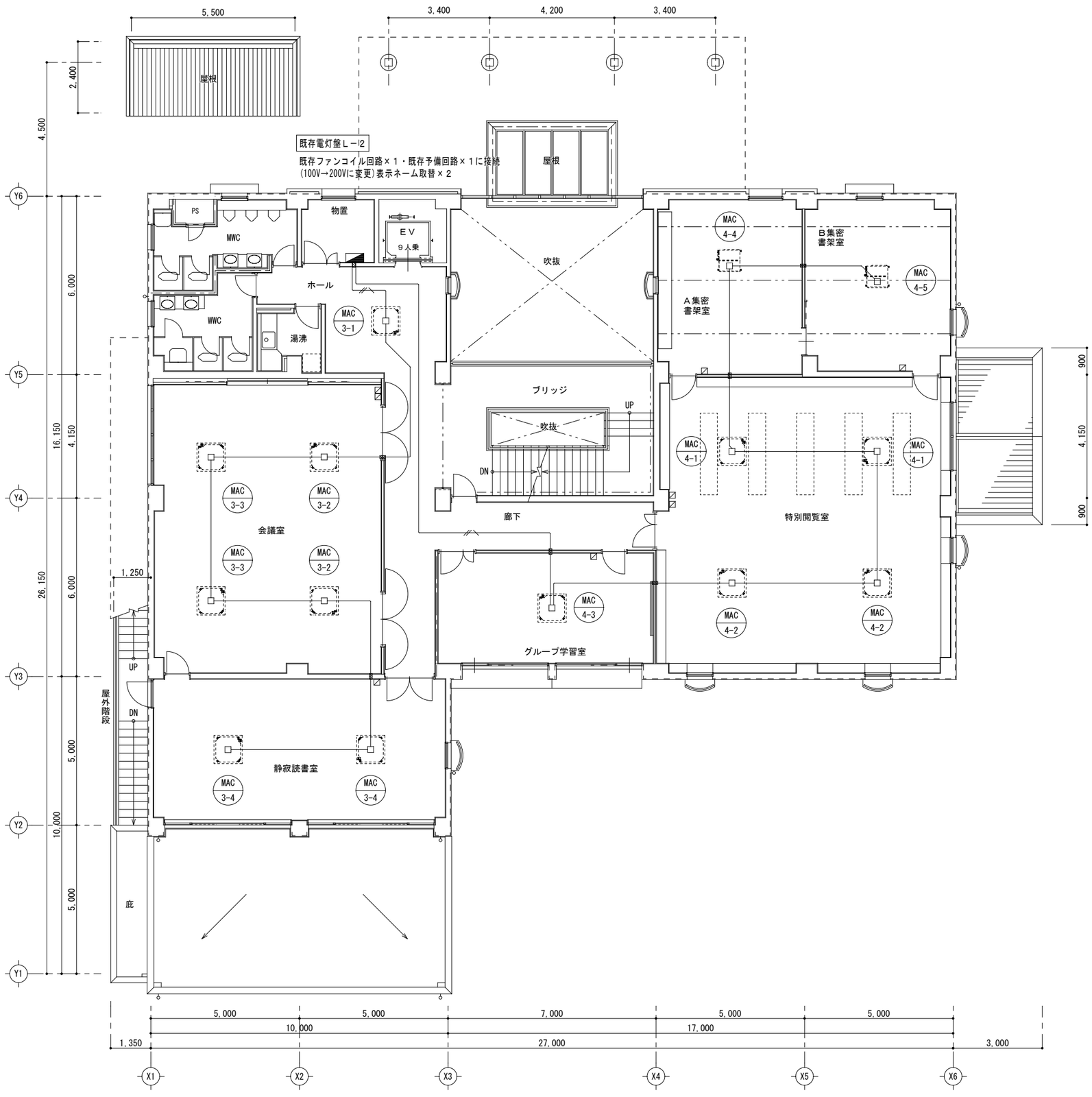
PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

地階・１階空調電源設備図

SCALE 1/100

07
E

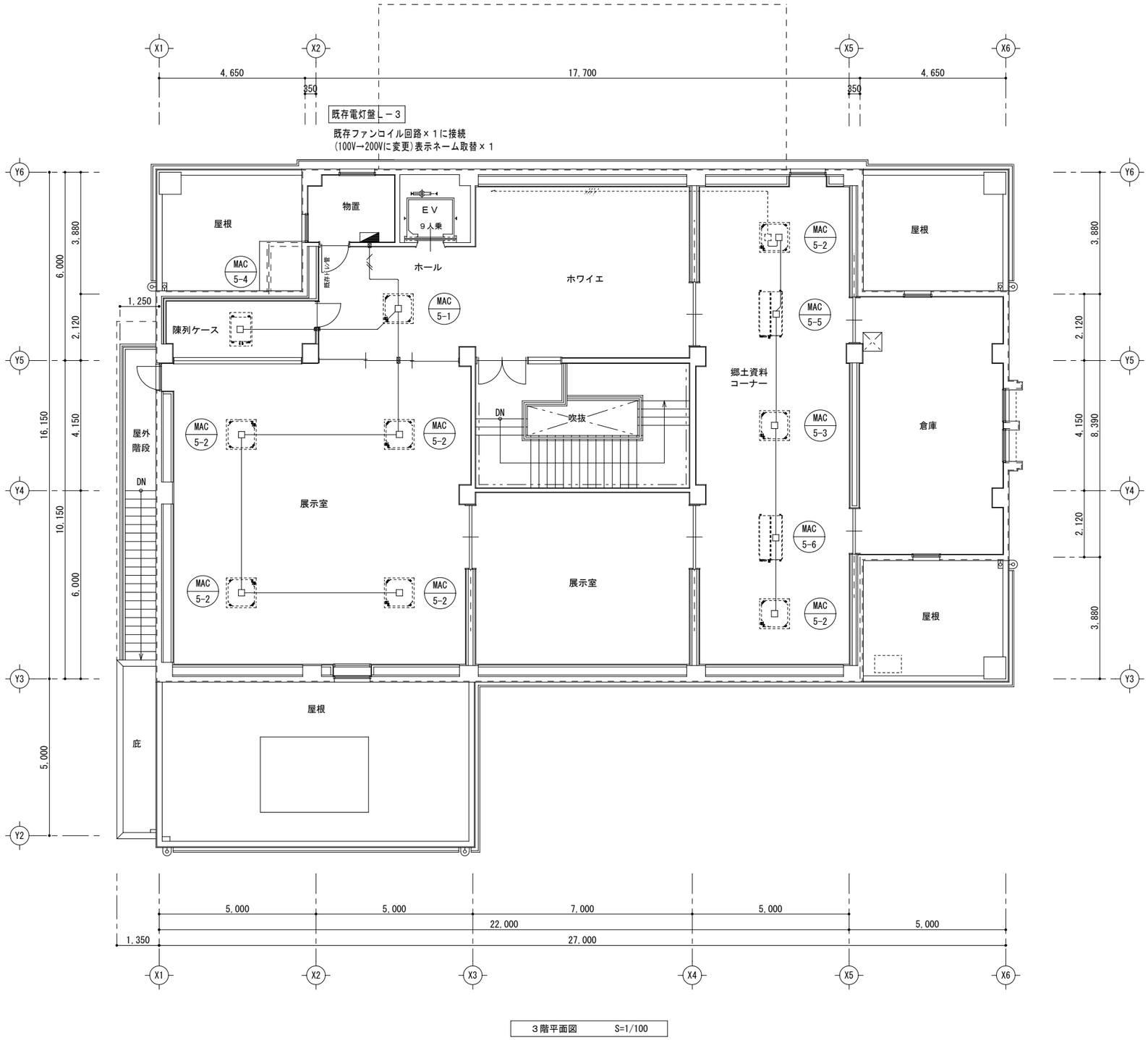
改修後



２階平面図　　S=1/100

株式会社　RI SE設 計 事 務 所 管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事				２階空調電源設備図	SCALE 1/100　08/E
	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY		

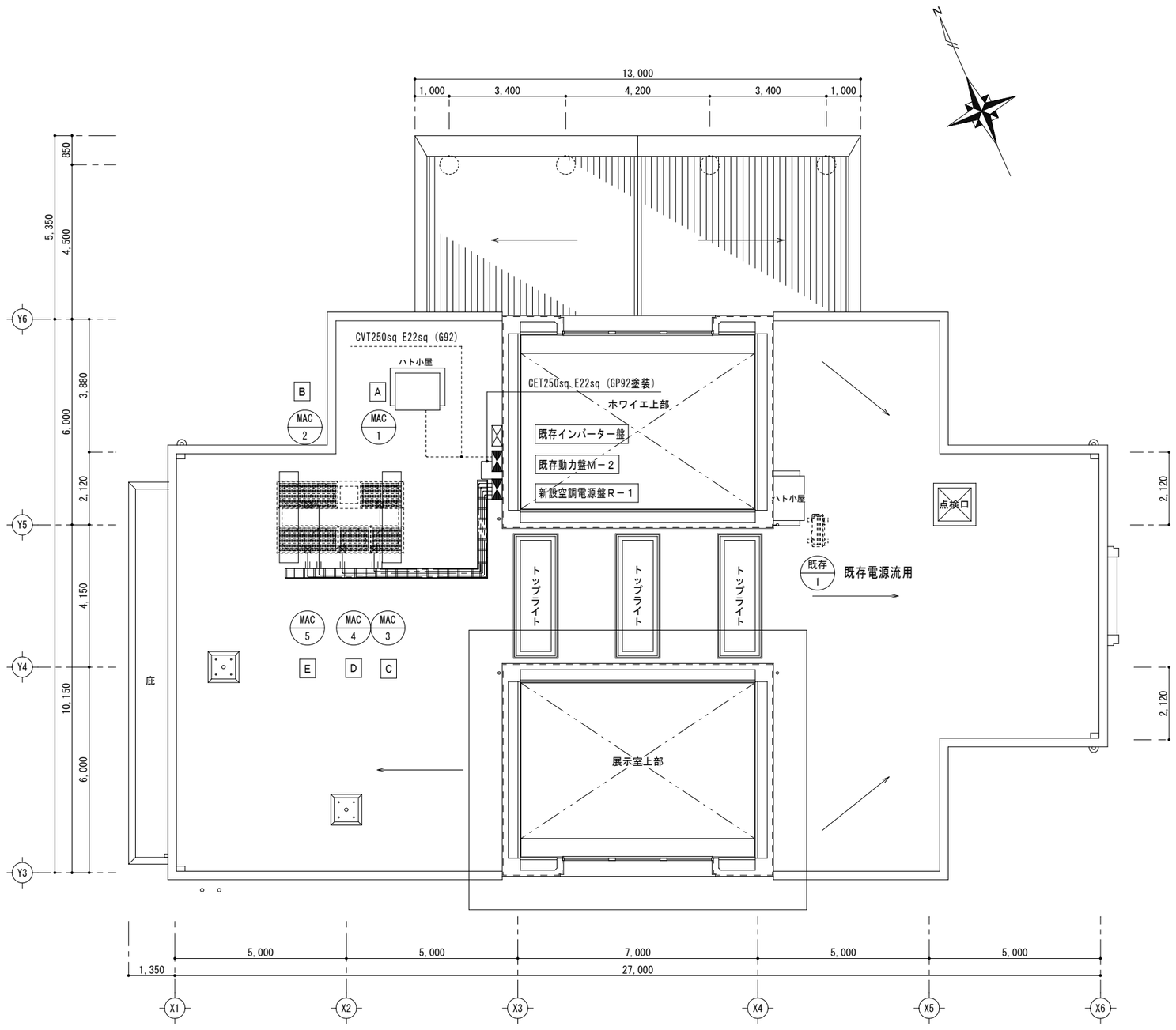
改修後

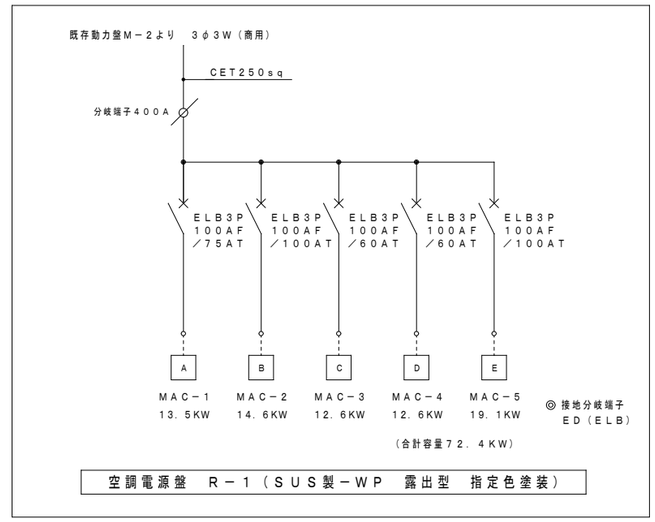


３階平面図　　S=1/100

株式会社　RI SE設計事務所	生第08115号　野市図書館空調設備更新工事			３階空調設備図	SCALE 1/100
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史	PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY	09 / E

改修後





空調電源盤　R－1（SUS製－WP　露出型　指定色塗装）

【 M－2 】			室外機接続部
A	空調室外機	3Φ200V　CET14sq　E5.5sq（ラック）	防水接続材（38）
B	〃	〃　CET22sq　E5.5sq（ラック）	防水接続材（50）
C	〃	〃　CET14sq　E3.5sq（ラック）	防水接続材（38）
D	〃	〃　CET14sq　E3.5sq（ラック）	防水接続材（38）
E	〃	〃　CET38sq　E5.5sq（ラック）	防水接続材（63）

屋上平面図　　S=1/100

空調機器リスト

記号	名　称	定格消費電力		電源			機種（参考型番）	台数
				電圧	室内	室外		
MAC-1	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	11.0	13.5	3φ200V	×	○	RXYA400A(E)	1
MAC-1-1	ビル用マルチエアコン 室内機	0.028	0.024	1φ200V	○	×	FXYFA36AA	2
MAC-1-2	ビル用マルチエアコン 室内機	0.043	0.038	1φ200V	○	×	FXYFA56AA	2
MAC-1-3	ビル用マルチエアコン 室内機	0.086	0.081	1φ200V	○	×	FXYFA80AA	1
MAC-1-4	ビル用マルチエアコン 室内機	0.295	0.285	1φ200V	○	×	FXYMA140AA	1
MAC-2	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	14.6	14.6	3φ200V	×	○	RXYA500A(E)	1
MAC-2-1	ビル用マルチエアコン 室内機	0.037	0.033	1φ200V	○	×	FXYFA45AA	5
MAC-2-2	ビル用マルチエアコン 室内機	0.072	0.068	1φ200V	○	×	FXYFA71AA	4
MAC-3	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	9.41	12.6	3φ200V	×	○	RXYA335A(E)	1
MAC-3-1	ビル用マルチエアコン 室内機	0.028	0.024	1φ200V	○	×	FXYFA28AA	1
MAC-3-2	ビル用マルチエアコン 室内機	0.028	0.024	1φ200V	○	×	FXYFA36AA	2
MAC-3-3	ビル用マルチエアコン 室内機	0.037	0.033	1φ200V	○	×	FXYFA45AA	2
MAC-3-4	ビル用マルチエアコン 室内機	0.072	0.068	1φ200V	○	×	FXYFA71AA	2
MAC-4	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	9.41	12.6	3φ200V	×	○	RXYA335A(E)	1
MAC-4-1	ビル用マルチエアコン 室内機	0.028	0.024	1φ200V	○	×	FXYFA36AA	2
MAC-4-2	ビル用マルチエアコン 室内機	0.037	0.033	1φ200V	○	×	FXYFA45AA	2
MAC-4-3	ビル用マルチエアコン 室内機	0.086	0.081	1φ200V	○	×	FXYFA80AA	1
MAC-4-4	ビル用マルチエアコン 室内機	0.148	0.136	1φ200V	○	×	FXYMA45AA	1
MAC-4-5	ビル用マルチエアコン 室内機	0.148	0.136	1φ200V	○	×	FXYMA56AA	1
MAC-5	ビル用マルチエアコン 室外機 （耐塩害仕様）	15.7	19.1	3φ200V	×	○	RXYA560A(E)	1
MAC-5-1	ビル用マルチエアコン 室内機	0.028	0.024	1φ200V	○	×	FXYFA28AA	1
MAC-5-2	ビル用マルチエアコン 室内機	0.037	0.033	1φ200V	○	×	FXYFA45AA	6
MAC-5-3	ビル用マルチエアコン 室内機	0.043	0.038	1φ200V	○	×	FXYFA56AA	1
MAC-5-4	ビル用マルチエアコン 室内機	0.039	0.035	1φ200V	○	×	FXYCA28AA	1
MAC-5-5	ビル用マルチエアコン 室内機	0.188	0.176	1φ200V	○	×	FXYMA90AA	1
MAC-5-6	ビル用マルチエアコン 室内機	0.224	0.215	1φ200V	○	×	FXYMA112AA	1
既存-1	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン（更新対象外）	1.92	2.04	3φ200V	×	○	SSRB80BBT（E）	1
H-1	除湿機	0.800kW		1φ100V	—	—	KFH-P08RB-W	1
H-2	除湿機	0.800kW		1φ100V	—	—	KFH-P08RB-W	1
F-1	熱交換形換気扇	0.0305kW		1φ100V	—	—	FY-15ZB3/1W	2

株式会社　RI SE設計事務所
管理建築士　一級建築士大臣登録　第189030号　植村佳史

生第08115号　野市図書館空調設備更新工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

屋上空調設備図

SCALE 1/100

10
E